

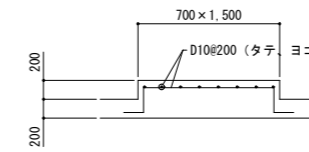
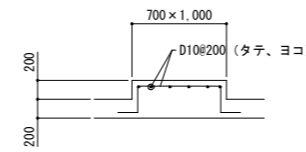
スラブ及び壁断面配筋 S=1/40

壁リスト S=1/40

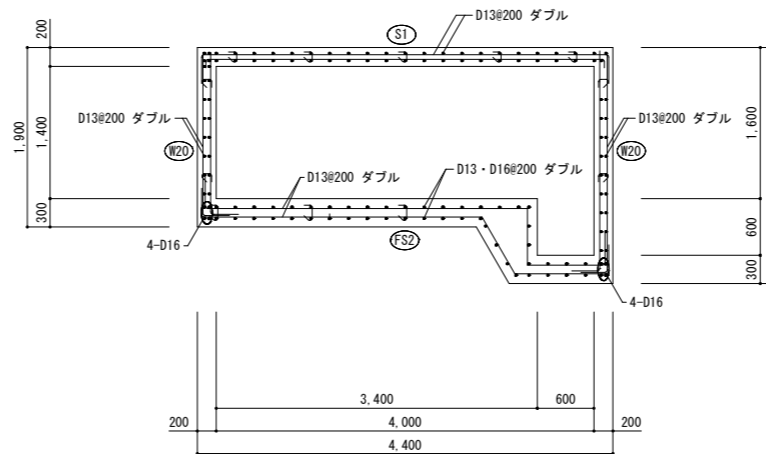
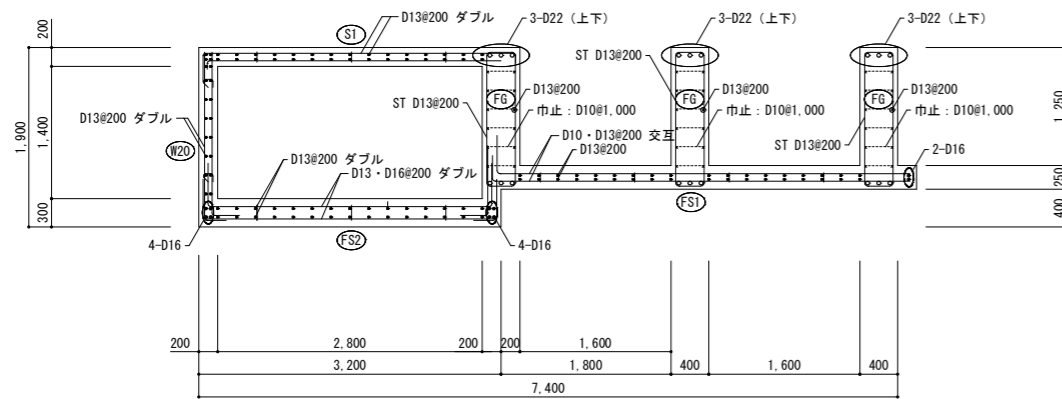
符号	W20
断面	
縦筋	2-D13#200
横筋	2-D13#200
壁交差部	縦筋 4-D13
巾止め筋	D10#1000以内

スラブリスト S=1/40

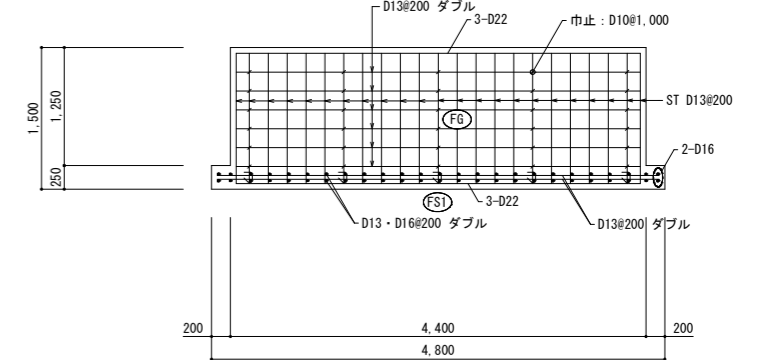
符号	S1	FS1	FS2
断面			
主筋	D13#200 (ダブル)	D13・D16#200 (ダブル)	D13・D16#200 (ダブル)
配力筋	D13#200 (ダブル)	D13#200 (ダブル)	D13#200 (ダブル)
開口部補強	縦筋	4-D13	
	横筋	4-D13	
	斜め筋	2-D13	



機械基礎配筋図 S=1/40



断面配筋図 S=1/40



コンクリート: Fc24-18-25 鉄筋: SD295A、SD345

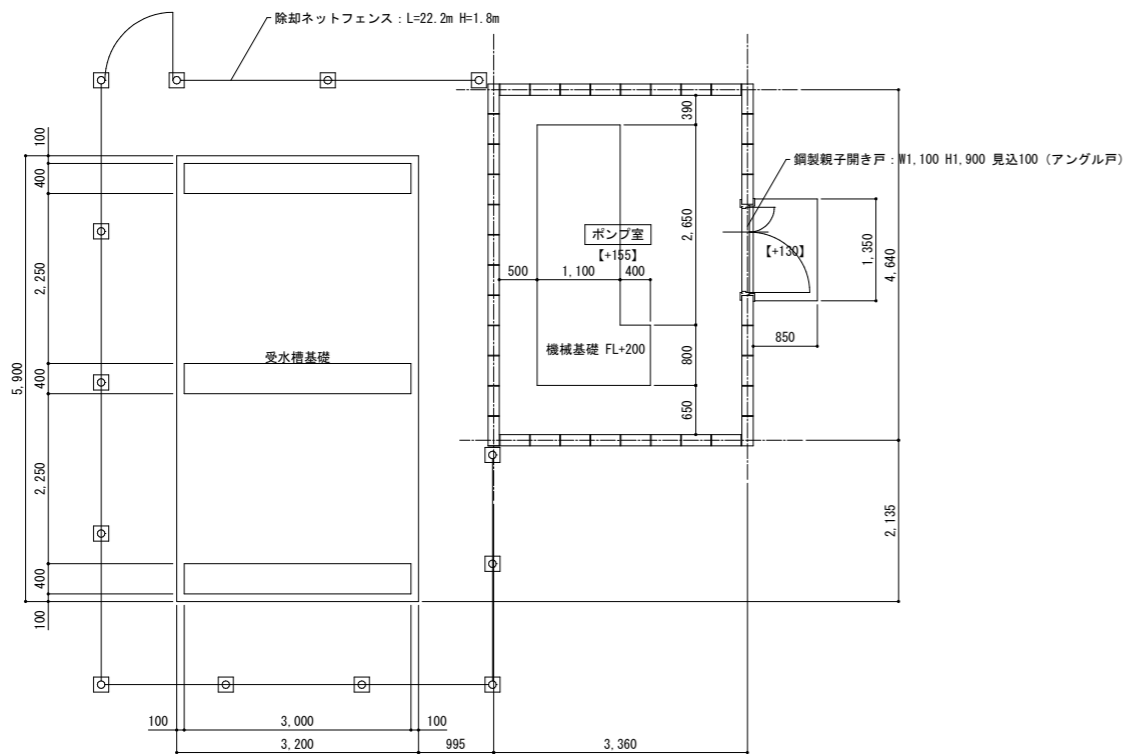
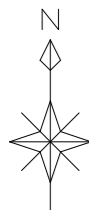
訂正	

SNS 新日本設計株式会社

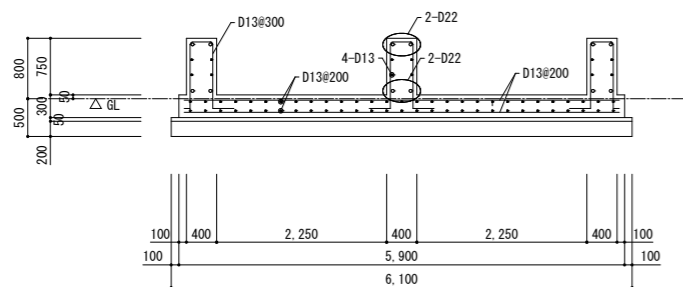
長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日	設計	検図	工事名称	図面番号
			国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事	A-89
製図	検印		図面名称	縮尺
			受水槽基礎配筋図	1:40 (A1) 1:80 (A3)

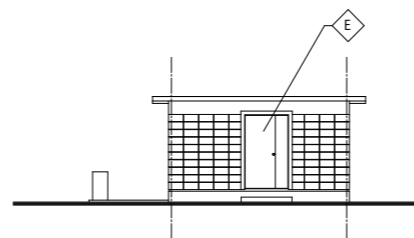
解体・撤去



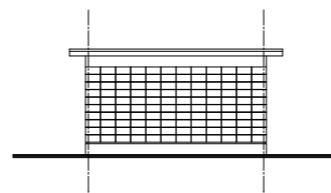
解体平面図 S=1/50



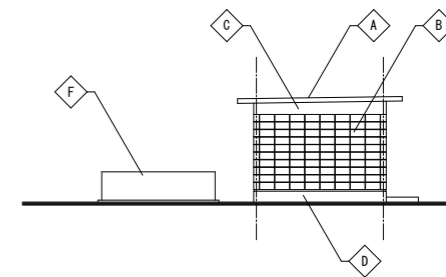
受水槽基礎断面図 S=1/50



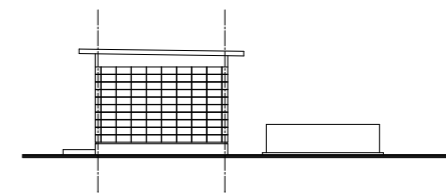
東立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100

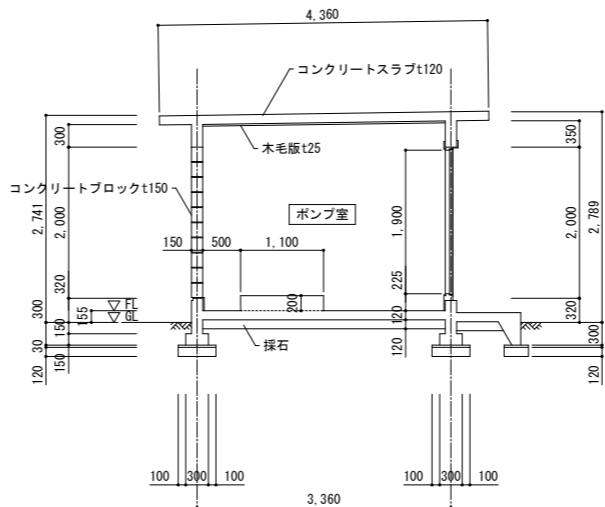


南立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100

外部仕上表	
A	屋根: コンクリートスラブt120
B	外壁: コンクリートブロックt150
C	がりょう
D	布基礎
E	鋼製親子開き戸: W1,100 H1,900 見込100
F	受水槽基礎



ポンプ室断面図 S=1/50 土間コンクリート及び布基礎は仮定断面(参考)とする

訂正	

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日	設計	検図	工事名称 国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事	図面番号
	製図	検印	図面名称 受水槽基礎・ポンプ室除却図	A-90
			縮尺: 50, 100 (A1) 1: 100, 200 (A3)	

特記仕様(構造関係)

I 建物構造概要等

Table with 4 columns: 主要用途, 階数, 建物高さ, 工事種別, etc. Includes details on building type (primary school), floors (2 above, 2 below), height, and construction methods.

Table for construction calculation conditions (構造計算条件). Includes seismic design conditions (a), wind design conditions (b), and load design conditions (c) with various parameters and standards.

II 建築工事仕様(構造関係)

- 1. 共通仕様: 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書・同指針(建築工事編)(平成28年版)」(以下、「標準仕様」という)による。
2. 特記仕様: (1) 項目は、番号に印の付いたものを適用する。(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。(4) □印は「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特記調達品を示す。なお、特定調達品目否かの判断基準は監督職員との協議による。

適用範囲 (適用範囲) table with 2 columns: 特記仕様(構造関係)の適用範囲は下記の工事種目とする。 ※特記仕様書(1)仕様書 I 工事概要 2 工事種目に掲げる下記の工事種目番号(番号○→番号○までの工事種目)

Table for construction specifications (④ 地業工事). Includes items like 'Support and bearing ground confirmation' (支持力又は支持地盤の確認), 'Liquification countermeasures' (液化化対策), and 'Existing concrete pile ground' (既設コンクリート杭地業).

4 鋼杭地業

Table for steel pile materials (鋼杭地業). Columns include pile diameter (杭径), pile type (種類), length (杭長), set number (セット数), etc.

試験杭 (Test pile) details: 試験杭の位置、本数及び寸法. 構造図(S-11)による.

杭先端部形状 (Pile tip shape): ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形

杭の精度 (Pile accuracy): ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下

杭の傾斜 (Pile inclination): ・1/100以内

杭周固定液 (Pile grout): ・使用する ・使用しない

杭継手工法 (Pile joint method): ・アーク溶接継手 ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)

杭頭の処理(切断方法) (Pile head treatment): ・切断しない ・切断する

材料 (鋼杭の種類) (Materials): ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M

Table for pile materials with columns for diameter, length, and set number.

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

Table for pile materials (continued) with columns for diameter, length, and set number.

試験杭 (Test pile) details: 試験杭の位置、本数及び寸法. 構造図(S-11)による.

杭先端部形状 (Pile tip shape): ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形

杭の精度 (Pile accuracy): ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下

杭の傾斜 (Pile inclination): ・1/100以内

施工方法 (Construction method): ・特定理込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法

杭の現場継手 (On-site pile joints): ・アーク溶接継手 ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)

杭頭の処理(切断方法) (Pile head treatment): ・切断しない ・切断する

材料 (鋼杭の種類) (Materials): ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

Table for pile materials with columns for diameter, length, and set number.

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

Table for pile materials with columns for diameter, length, and set number.

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

寸法、継手、性能等 (Dimensions, joints, performance): (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類 (Reinforcement types): 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)

② 溶接金網 (Welded mesh): 溶接金網の種類 (5.2.2)

③ 鉄筋の継手 (Reinforcement joints): 継手方法 (5.3.4)(5.5.2)(5.5.3)

④ 主筋の継手位置等 (Main reinforcement joint positions): カットオフ鉄筋の長さ (5.3.4)

⑤ 定着長さ (Development length): 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ (5.3.4)(表5.3.4)

⑥ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (Reinforcement cover and spacing): 最小かぶり厚さ(自地底から算出を行う) (5.3.5)(表5.3.6)

⑦ 各部配筋 (Reinforcement details): 各部配筋 (5.3.7)

⑧ 帯筋 (Cross-ties): 組立の形の種類 (5.3.7)

⑨ 壁開口部の補強 (Wall opening reinforcement): 一般壁 (5.3.7)

⑩ 梁貫通孔の補強 (Beam penetration hole reinforcement): 補強形式 (5.3.7)

⑪ 圧接完了後の試験 (Testing after pressure completion): 外観試験 (5.4.9)

⑫ 特殊な鉄筋継手 (Special reinforcement joints): 特殊な鉄筋継手 (5.5.2)(5.5.3)

Main specification table with columns for item number, description, and reference standards. Includes sections for reinforcement types, welded mesh, joints, and special joints.

訂正 (Correction) table with 2 columns: 訂正, 訂正内容

新日本設計株式会社 (Shin Nihon Sekkei Co., Ltd.) logo and address information: 長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号

Table with project details: 工事名称 (国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事), 縮尺 (A1, A3), and 図面番号 (S-01)

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2017年度版

§ 1 一般事項

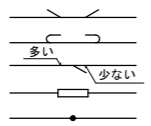
- 1-1 基本事項
1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
 2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2015)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
 3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
 4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。
- 1-2 その他

§ 2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	●	×	◇	○	◎	⊗	⊕	⊖	⊘		
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

- ・フックのない場合
- ・フックのある場合
- ・本数に差がある場合
- ・機械式継手表示
- ・溶接継手表示 (ガス圧接、突き合せ溶接)



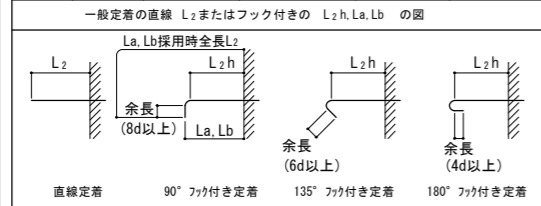
柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分		鉄筋の折曲げ内法直径(D)
				一般	小梁・床スラブ	
180°		柱・梁主筋 基礎主筋	SD295 SD345	D16以下	D19~D41	3d以上
135°		あばら筋 スラブ筋	SD390	D41以下	D25以下	5d以上
90°		壁筋	SD490	D29~D41	D29~D41	6d以上

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

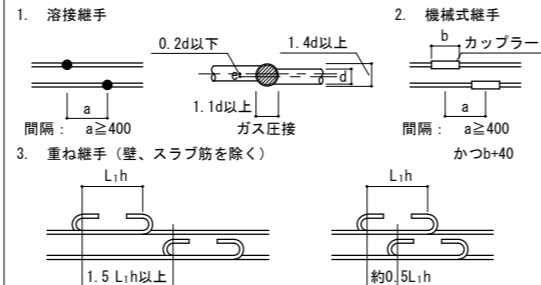
「JASS5(2015)」に準拠

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	重ね継手の長さ	定着の長さ			
			一般	小梁・床スラブ	床スラブの場合 L ₃ =10d	
SD295 (SD345) ()はSD345を示す	18	45d (50d) 35d	40d 30d	15d	L ₃ =20d L ₃ h=10d	
	21	40d (45d) 30d	35d 25d	20d (20d)		
	24~27	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20d (25d)	15d		
	30~36	35d 25d	30d 20d	15d		
	39~45	30d (35d) 20d (25d)	25d (30d) 15d (20d)	15d		
	48~60	30d 20d	25d 15d	15d		
SD390 (SD490) (-)は適用外	21	50d (-) 35d (-)	40d (-) 30d (-)	20d (-)	SD490は適用外	
	24~27	45d (55d) 35d (45d)	40d (45d) 30d (35d)	(-)		
	30~36	40d (50d) 30d (35d)	35d (40d) 25d (30d)	15d (-)		
	39~45	40d (45d) 30d (35d)	35d (40d) 25d (30d)	15d (-)		
48~60	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20d (25d)	15d (-)			

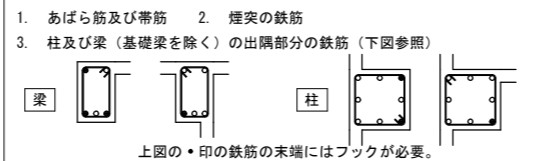


1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間距離、又、フック付きのL₂hは仕口面からの鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。

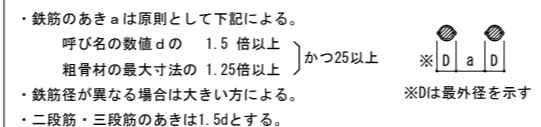
2-4 継手一般



2-5 鉄筋のフック



2-6 鉄筋のあき

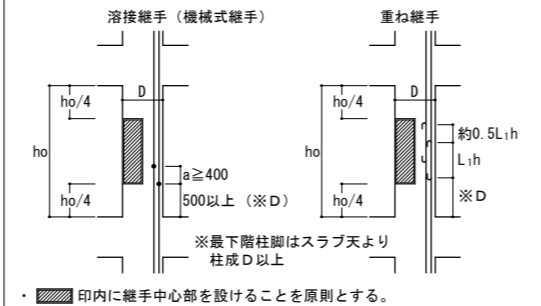


2-7 かぶり厚さ

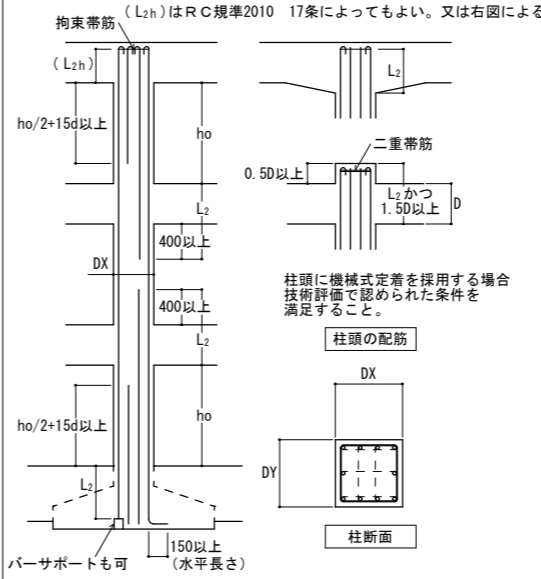
部位	かぶり厚さ		
	仕上げあり	仕上げなし	
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	30 (20)	30 (20)
	柱 梁 耐力壁	30 (20)	40 (30)
	擁壁	50 (40)	50 (40)
	柱・梁・床スラブ・壁 基礎の立上り	50 (40)	50 (40)
土に接する部分	基礎・擁壁	70 (60)	70 (60)

1. ()内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
- ※1 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10減の値とすることができる。
- ※2 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
3. 柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

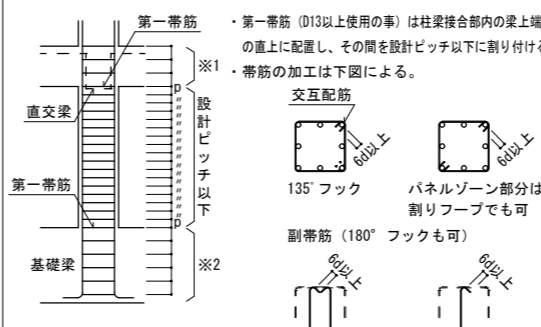
3-1 主筋の継手



3-2 主筋の定着



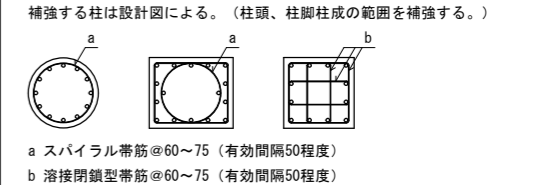
3-3 帯筋副帯筋



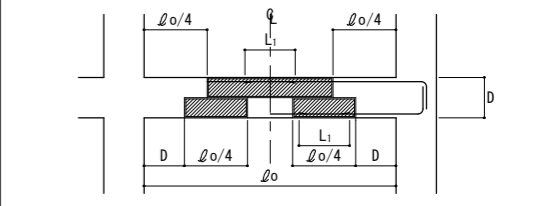
3-4 補助筋



3-5 柱のコンファインド補強



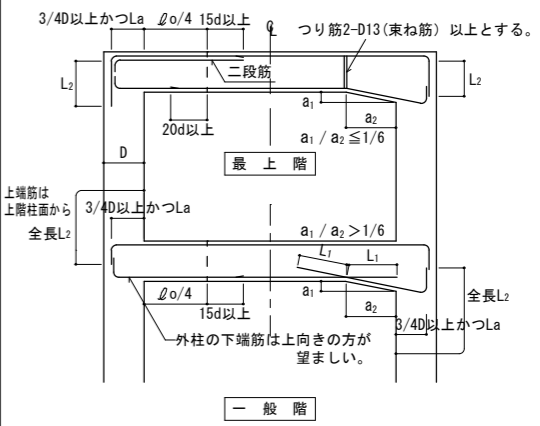
4-1 主筋の継手



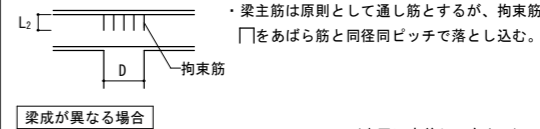
4-2 主筋の定着及び余長

- ・印内に継手中心部を設けることを原則とする。(告示平12第1463号 使用基準参照) 溶接継手の場合でも柱面より500以上はなすこと。
- ・定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

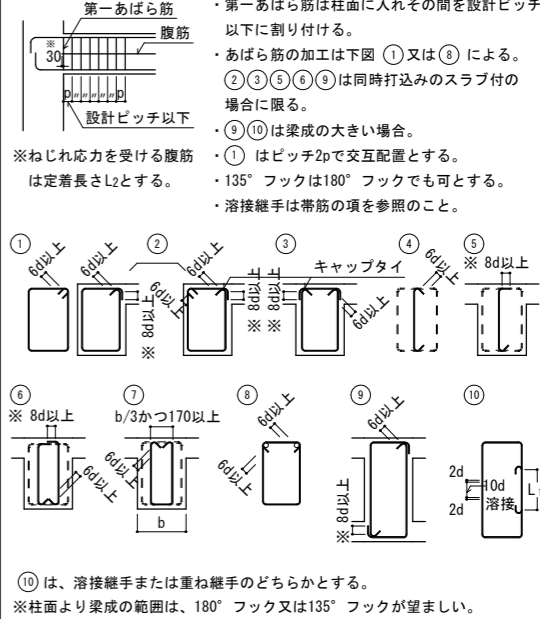
外柱



中柱



4-3 あばら筋副あばら筋



構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日

設計

検図

製図

検印

工事名称
国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事

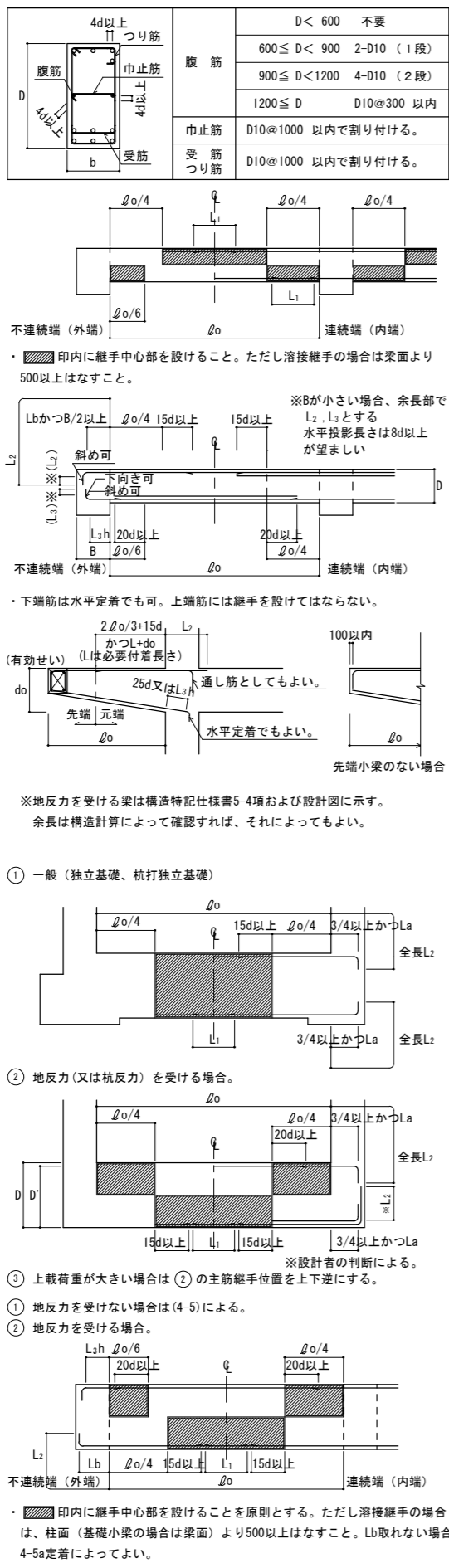
図面名称
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

図面番号

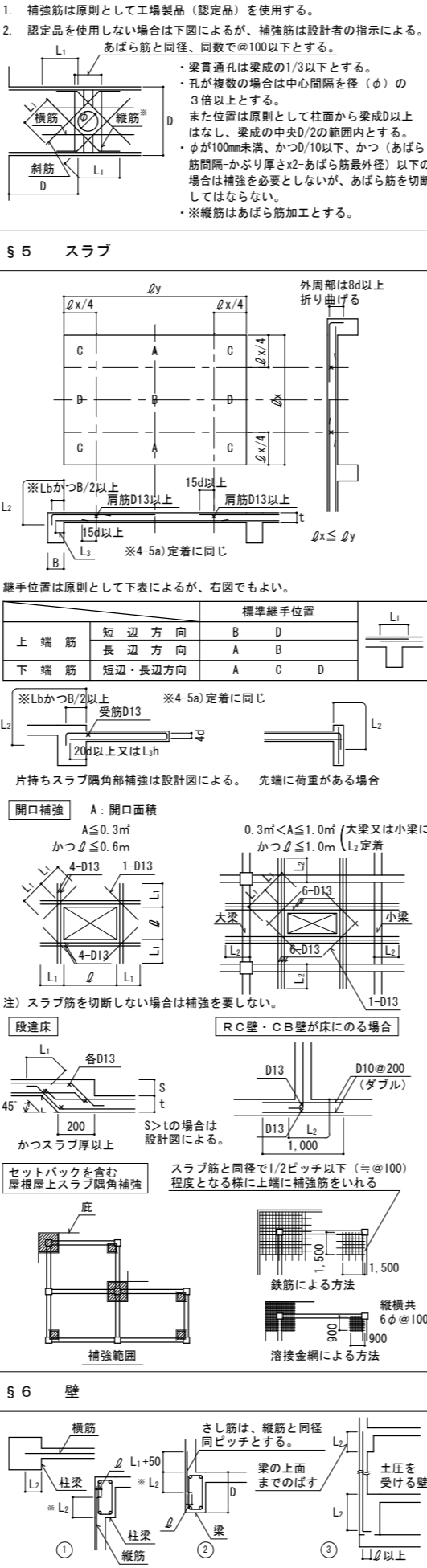
S-03

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2017年度版

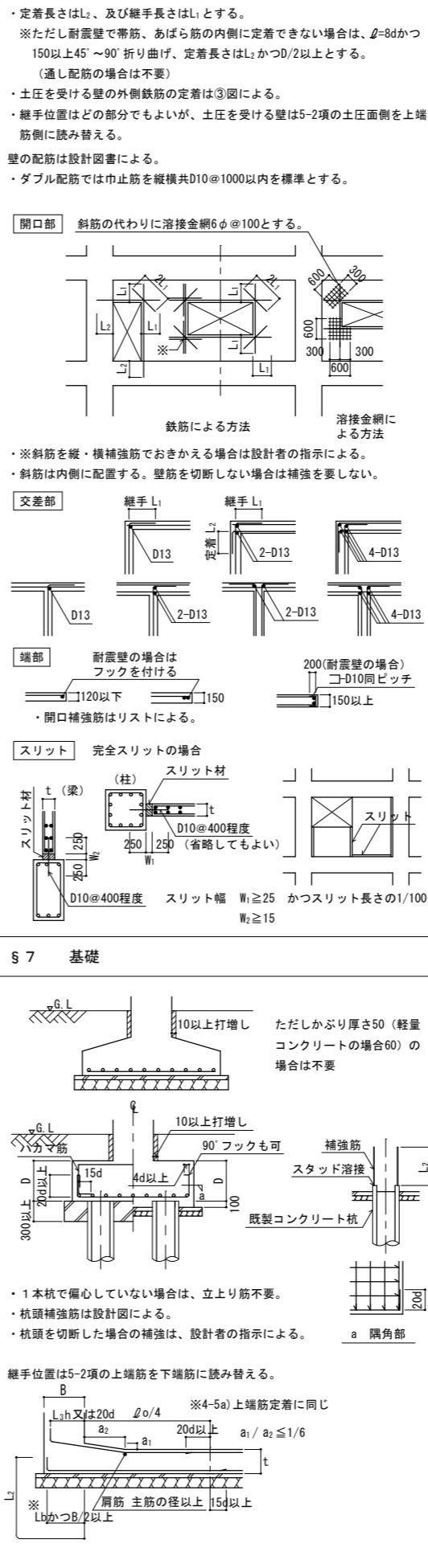
4-4 補助筋
4-5 小梁及び片持梁
a) 小梁継手
定着
b) 片持梁定着継手
4-6 基礎梁及び基礎小梁
a) 基礎梁の継手及び定着
b) 基礎小梁の継手及び定着



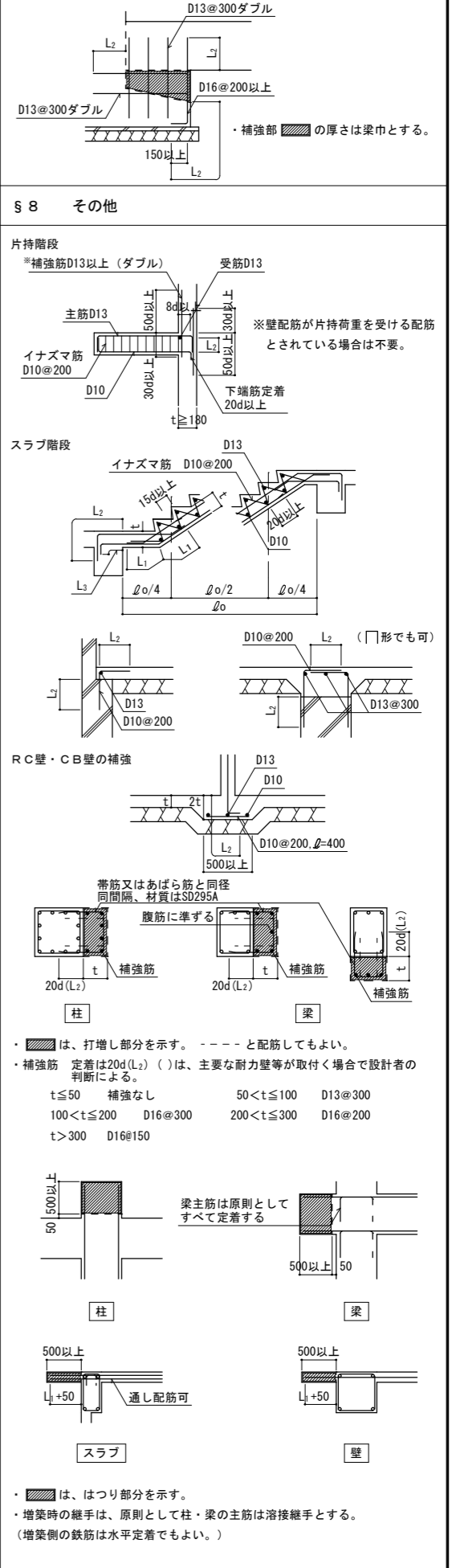
4-7 梁の貫通補強
5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着
5-2 継手
5-3 片持ちスラブ
5-4 補強筋
6-1 定着及び継手
6-2 壁配筋
6-3 補強筋



7-1 独立基礎
7-2 杭基礎
7-3 べた基礎
8-1 階段
8-2 土間コンクリート
8-3 打増し補強
8-4 増築予定



7-4 基礎と基礎梁
§8 その他



鉄骨工作標準図(1)

2017年度版

§ 1 一般事項

1-1 基本事項

- 1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
- 2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書 1-2-4、5に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
- 3) 製作精度等に関しては、JASS6の付則6「鉄骨精度検査基準」による。
- 4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべて mm とする。

1-2 その他

§ 2 共通事項

2-1 略号

・ AB	アンカーボルト	・ BH	組立てH形鋼
・ BR	ベースプレート	・ CHR	チェッカープレート
・ DF	ダイヤフラム	・ FB	フラットバー
・ FR	フランジプレート	・ GR	ガセットプレート
・ HTB	高力ボルト	・ RB	リッププレート
・ SR	スプライスプレート	・ TB	ターンバックル
・ WR	ウェブプレート	・ W1-9	溶接記号 (§ 4 参照)

§ 3 ボルト接合

3-1 高力ボルト

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40

3-2 高力ボルトのピッチ

呼び径	M16, M20, M22, M24				
	M16	M20	M22	M24	
標準	60	60	60	70	
最小	40	50	55	60	
はしあき	40	40(50)	40(55)	45(60)	
最小縁端距離	せん断線、手動ガス切断線	28	34	38	44
	圧延線、自動ガス切断線等	22	26	28	32

3-3 形鋼のゲージ

ゲージ	千鳥打ちのピッチ b	
	M16, 20, 22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

§ 4 溶接接合

4-1 隅肉溶接

t ≤ 16						16 < t ≤ 40						
記号 W1						記号 W1						
t	6以下	9	12	14	16	19	22	25	28	32	36	40
s	t	7	9	10	12	11	13	15	17	19	21	24

4-2 完全溶込み溶接 (突合せ溶接)

1) 板厚の異なる場合 (通しダイヤフラムは除く)

2) エンドタブ

3) 開先加工 (下図は参考とする)

4) 開先形状

4-3 部分溶込み溶接

片面溶接 W6						両面溶接 W7						
12 ≤ t ≤ 40						16 ≤ t ≤ 40						
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40	D=(t-2)/2		
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16	t/4 ≤ S ≤ 10		

4-4 フレア溶接

4-5 その他

加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビートをしてはならない。

§ 5 継手

5-1 継手リスト

材種	主材	高力ボルト径	フランジ		ウェブ		
			外側添板	内側添板	添板	ピッチ	
H	A × B × t1 × t2	2R	t21 × a1 × Δ1	4R	t22 × a2 × Δ1	2R	t11 × a3 × Δ2
BH	A × B × t1 × t2						
H	x x x		x x	x x		x x	
H	x x x		x x	x x		x x	
H	x x x		x x	x x		x x	
H	x x x		x x	x x		x x	
H	x x x		x x	x x		x x	
H	x x x		x x	x x		x x	
H	x x x		x x	x x		x x	
H	x x x		x x	x x		x x	
H	x x x		x x	x x		x x	

5-2 小梁仕口

ピン接合 Aタイプ

剛接合 Bタイプ

ボルトの長さ

呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40

特記以外はすべてS10T(トルシア形高力ボルト、上図)又はF10Tとする。

本締めを使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。

ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは1次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。

垂鉛メッキボルトの場合は、すべてF8Tとする。

フランジ 250以下

フランジ 300

フランジ 350, 400

10ee (ウェブ)

ボルト本数表示

10eDe (ウェブ)

フランジの曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。γ1は35程度、γ2は10程度とする。なお複合円は滑らかに仕上げる。完全溶込み溶接部以外のスカラップは、γ=25程度とする。

スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。γ1は35程度、γ2は10程度とする。なお複合円は滑らかに仕上げる。完全溶込み溶接部以外のスカラップは、γ=25程度とする。

ノンスカラップ工法

機械加工+ガス切りタイプ

MC...はアーク手溶接 GC...はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。

フランジ

ウェブ

1. フランジ裏面もしくはウェブ裏面で、段差1mmを超える場合は、フィラーRを入れて調整すること。

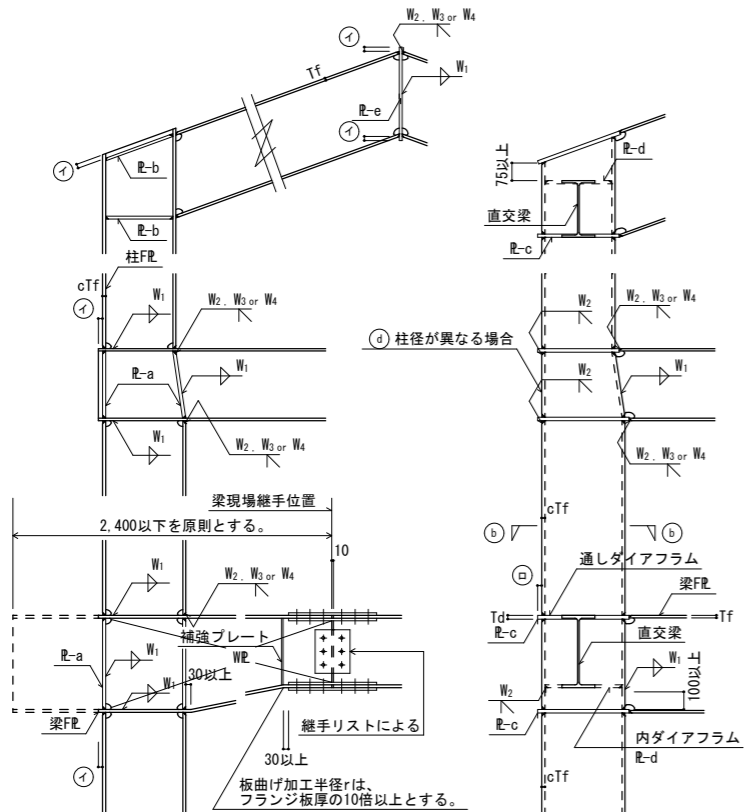
2. a3は原則として梁成の2/3以上確保すること。

GR, RRは材種、版厚とも小梁のWRと同等以上とする。

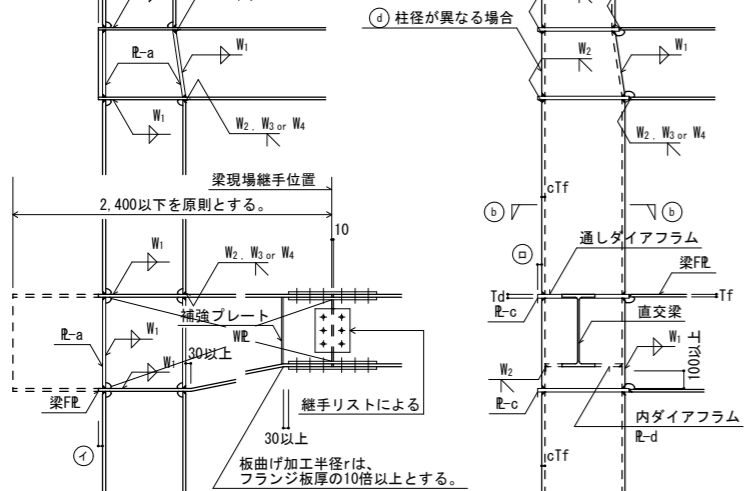
継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

§ 6 柱梁接合部及び継手

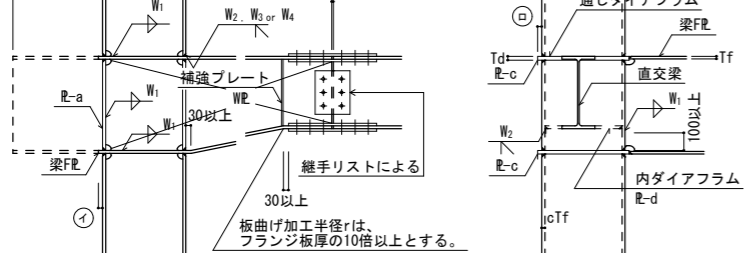
6-1
勾配屋根



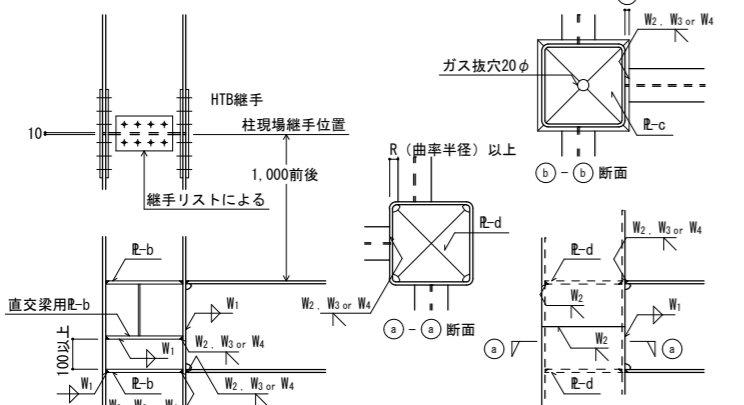
6-2
梁通し



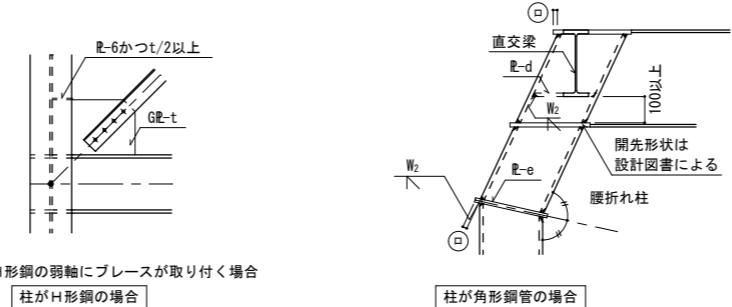
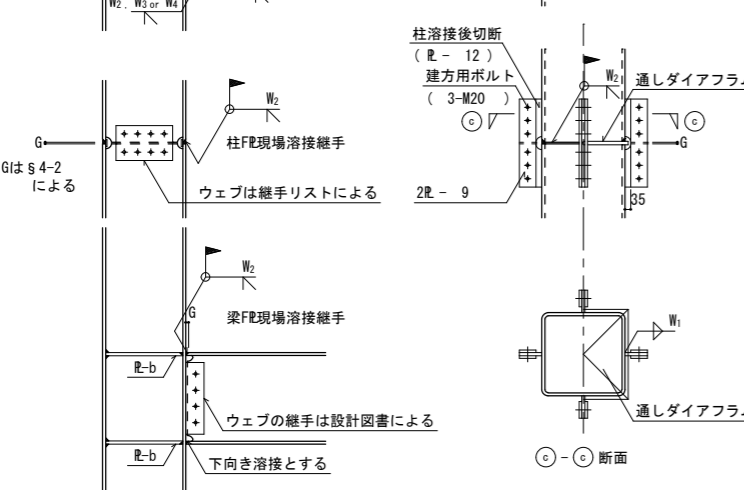
6-3
仕口と継手



6-4
柱通し



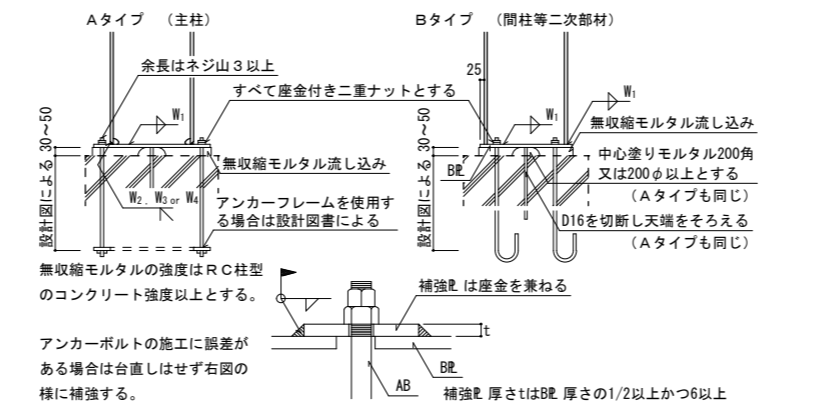
6-5
現場溶接継手



- H形鋼の弱軸にブレースが取り付けられる場合
柱がH形鋼の場合
- 1) パネルゾーン内のRの厚さ
1. R-a (鉛直スチフナ) 上下柱のFRの厚い方より1サイズUP以上
2. R-b (水平スチフナ) 仕口部に集結する梁の最大FRより1サイズUP以上
3. R-c (通しダイアフラム) 仕口部に集結する梁の最大FRより2サイズUP以上かつ柱のFR以上
4. R-d (内ダイアフラム) 仕口部に集結する梁の最大FRより2サイズUP以上
5. R-e (折れ曲がり部) 梁(柱)のFRより1サイズUP以上
- 2) 出寸法
① 25mmかつcTf以上
② cTf ≤ 25の場合 25
cTf ≥ 28の場合 30
- 3) 注記
1. ダイアフラムの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じし、材質は上の方の1ランク上質とする。
2. ④(6-2項) 上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。
3. ハンチ部でFRを折曲げる場合はR ≥ 10Tfとし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合(1/6程度)は不要。
4. ダイアフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイアフラムの厚みの内部で溶接すること。(告示1464)
5. 現場溶接を行なう場合は工事監督者の承諾を得、養生に十分配慮して行うこと。

§ 7 柱脚

7-1
一般柱脚



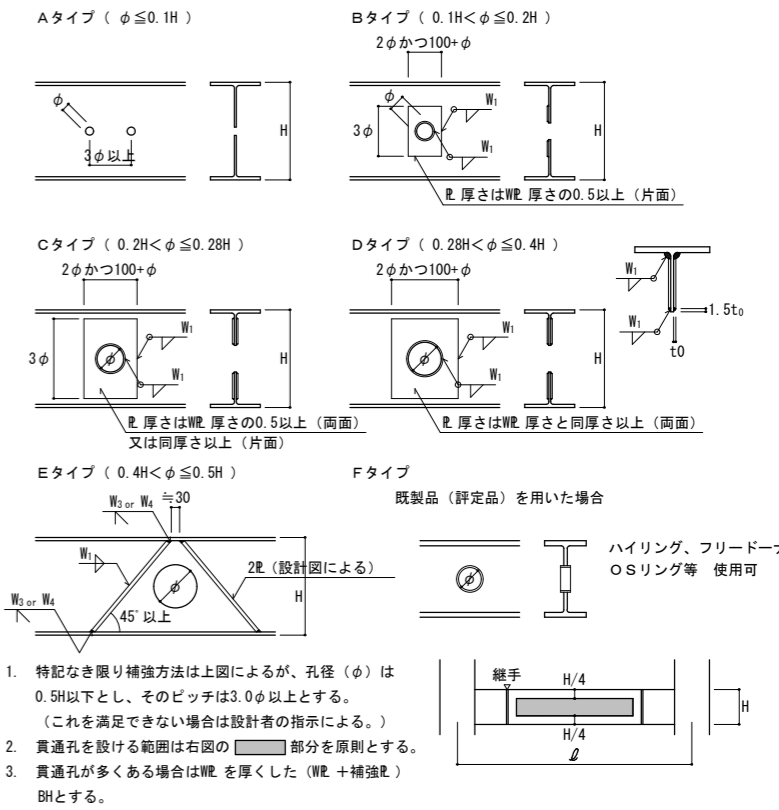
§ 8 壁面ブレース

8-1
ブレースリスト

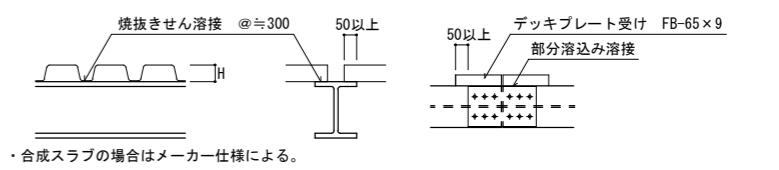
符号	部材	高力ボルト		GR		溶接	
		径	本数	t	∠e	脚長	Σ∠

- GRの最小幅∠eが確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。
- 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共JIS規格品を使用する。
- 床面ブレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

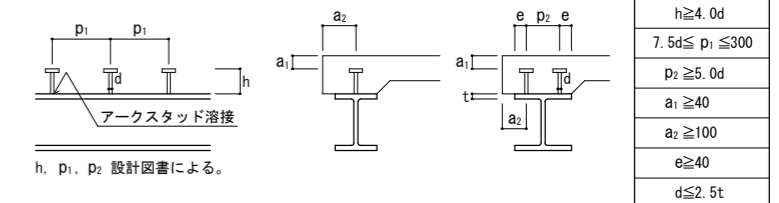
9-1
貫通補強



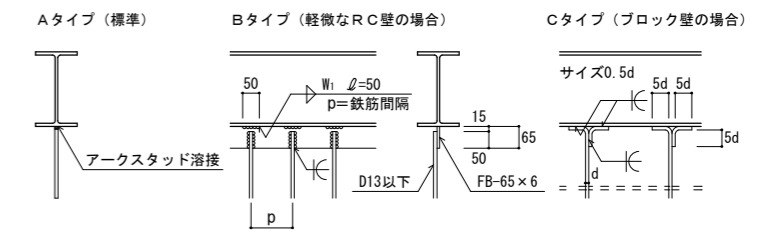
9-2
デッキプレート



9-3
スタッドジベル



9-4
壁筋の溶接



既製柱脚固定金物 柱脚工法設計施工標準図

(財)日本建築センターBCJ 認定-STO153-07 (平成30年11月16日付)

(角形鋼管仕様)

適用条件

●柱材:角形鋼管 (F値 235N/mm² - STKR40, BCP235, SHC400B・C (F値 295N/mm²) - BCR295 (F値 325N/mm²) - STKR490, BCP325, SHC490B・C ●基礎コンクリート:普通コンクリート (21・24N/mm²)以上 (30N/mm²)以下 ●鉄筋:異形鉄筋 SD295 (D10~D16) SD345 (D19~D25)

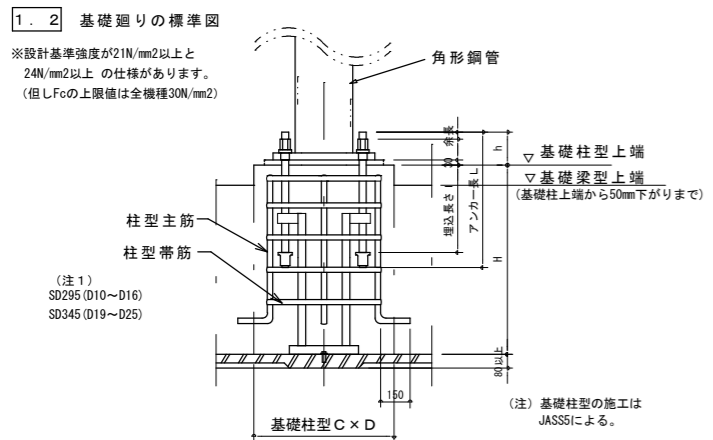
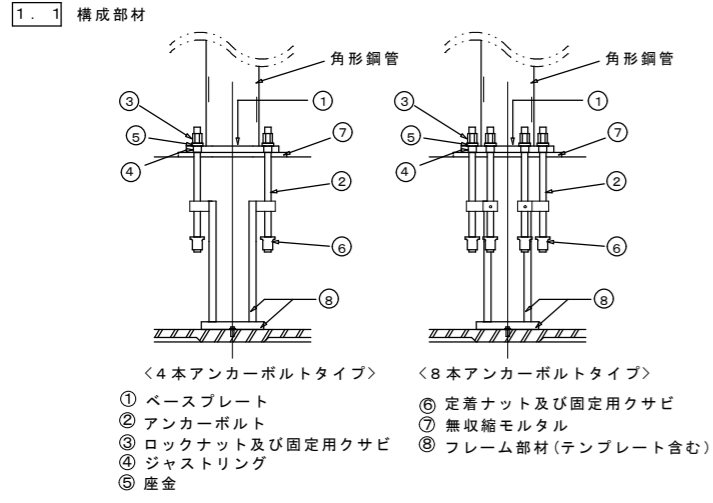
設計

●柱脚の選定:別冊「カタログ」により設計者が選定する。

●柱脚の溶接:別冊「工場製作管理要領書」により鉄骨工場にて溶接施工を行う。

●現場施工:別冊「施工ガイド」による。

1. 柱脚構成部材及び基礎廻り標準図



2. アンカーボルト・ロックナット・定着ナット・座金・ジャストリング

呼径	D	L	d1	l1
D29 (SD490)	32.4	660	M8	20
D35 (SD390)	38.7	720	M8	20
D35 (SD490)	38.7	725	M8	20
D38 (SD490)	42.7	785	M8	20
D41 (SD490)	46.2	870, 970	M8	20

呼径	B	C	L
D29	43	49.7	56
D35	53	61.2	64
D38	57	65.8	64
D41	64	73.9	64

呼径	A1	A2	B	H	c	d	R
D29	62	49.7	10	56	34.3	28.9	5
D35	74	61.2	10	64	41.2	35.0	5
D38	82	65.8	10	64	44.9	38.1	8
D41	88	73.9	10	72	48.2	41.2	7

呼径	W1	P1	t	φD
D29	74	37	22	34
D35	88	44	22	41
D38	94	47	25	45
D41	100	50	28	48

呼び名	外リング	内リング	H
	D d	D d	
D29	49.0 41.3	40.6 32.9	28
D35	59.0 49.6	48.8 39.2	32.45
D38	64.0 54.0	53.3 43.2	45
D41	69.0 58.2	57.5 46.7	55

3. ベースプレート

シフト/ス記号	タイプ	t	A	a	b	c	d	φ	R又はC
J150-09	4本	28	300	45	210	—	—	50	—
J175-09	4本	28	325	45	235	—	—	50	—
J200-09	4本	32	350	45	260	—	—	50	—
J200-12	4本	32	380	55	270	—	—	60	—
J250-09	4本	36	430	55	320	—	—	60	—
J250-12	4本	40	440	55	330	—	—	60	—
J250-16	8本	36	480	55	—	75	220	60	80
J300-09	8本	32	490	45	—	65	270	50	50
J300-12	8本	36	530	55	—	75	270	60	80
J300-16	8本	45	540	55	—	75	280	60	80
J300-19	8本	50	540	55	—	75	280	60	80
J350-12	8本	40	580	55	—	75	320	60	80
J350-16	8本	45	600	60	—	85	310	65	80
J350-19	8本	55	630	60	—	85	340	65	80
J350-22	8本	55	630	65	—	85	330	70	80
J400-12	8本	45	630	55	—	75	370	60	80
J400-16	8本	55	690	60	—	85	400	65	80
J400-19	8本	60	690	65	—	85	390	70	80
J400-22	12本	60	700	60	—	85	410	65	80
J450-16	12本	55	700	60	—	85	410	65	80
J450-19	12本	55	720	65	—	85	420	70	80
J450-22	12本	60	750	65	—	85	450	70	80
J500-19	12本	60	790	65	—	85	490	70	80
J500-22	12本	65	840	65	—	85	540	70	80
J550-19	12本	65	880	65	—	95	560	70	80
J550-22	12本	70	950	65	—	95	630	70	80

4. 溶接施工

種類	図	突合せ溶接の開先標準				溶接姿勢
		柱脚材の通用板厚 (mm)	ルート間隔 G (mm)	ルート半径 R (mm)	開先角度 α (度)	
被覆鉄線溶接		標準値	-2	-2	45	F
		許容差	+∞	+1	35	H
ガスシールド溶接		標準値	-2	-2	45	F
		許容差	+∞	+1	35	H

5. 現場施工

- 特記以外は元請建設会社の施工とする。
- 捨てコンクリート地業 (元請施工)
 - 基礎柱下部の捨てコンクリートは厚さ80mm以上とし、上面をコテで平滑に仕上げる。上面レベルのチェックを行う。
 - フレーム及びアンカーボルトの設置 (※1)
 - フレームベース設置: 柱中心線地盤に対し、平面位置を調整する。レベル調整用ボルトでフレームベースを水平にする。
 - アンカーボルト設置: フレームポスト上部の部材にアンカー調整ボルトにて固定し垂直を確認する。
 - テンプレート設置: テンプレートをアンカーボルトに上部からボルトにて固定し、テンプレート中心線を、柱中心地盤に調整後、フレームベースをホールインアンカーで固定する。
 - 定着ナット固定措置: 定着ナットをアンカーボルト下部位置に取り付け、アンカーボルトと定着ナットの隙間に鋼製クサビを打ち込む。
 - 基礎柱型筋及びコンクリート打設 (元請施工)
 - 鉄骨柱の建入れ (元請施工)
 - ジャストリング設置及びロックナット本締め (元請施工)
 - ジャストリングを全数設置し、レンチ等でロックナットを本締めする。(マーキング等による確認推奨) トルク値は300N・mとする。
 - 固定用クサビの設置 (元請施工)
 - 鋼製クサビをロックナットとアンカーボルトの隙間に全数セットし、打ち込む。
 - 無収縮モルタル注入
 - 無収縮モルタル用型枠施工 (元請施工)
 - 基礎コンクリート清掃・水洗いの後、無収縮モルタルをシュートにより一方から注入する。(※1)

【参考図】 構造担当者 一級建築士登録 第224598号 構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

新日本設計株式会社 長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野)N第43023号 1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日 設計 検 図 工事名称 国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事 図面番号 図面名称 既製柱脚固定金物 柱脚工法設計施工標準図 縮尺 (A1) (A3) 9-07

合成スラブ設計・施工標準 耐火補強筋不要仕様

〔耐火認定FP060FL-0099, 0100, 0101, 0102, 0126, FP120FL-0127用〕

QLデッキ合成スラブリ設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工及びJASS6鉄骨工事」、(社)日本鉄鋼連盟「デッキプレート構造成造設計・施工規程-2004」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート [ISO 9001 認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
■ QL99-50	1.0	■ 表面防錆処理(一次塗装) ¹⁾ QLプライマー(P) ²⁾
□ QL99-75	1.2	■ 亜鉛めっき
	1.6	■ JFEエコー(高耐食溶融めっき鋼板) [□Y18 □Y27]
		□ その他

*1 現場搬入までの一次防錆 (JIS K 5621 2種または3種相当)
*2 板厚1.2mm, 1.6mmに限る

材質 JIS G 3352に定めるSDP1T, SDP2, SDP2G

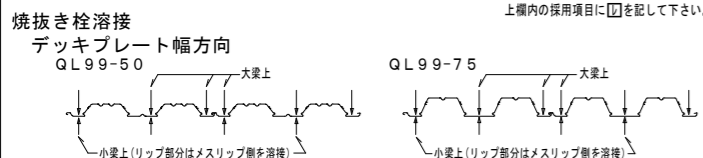
種類	普通コンクリート
設計基準強度	□ 18 □ 21 □ (24) N/mm ²
厚さ(QLデッキ山)	□ 60 □ 70 □ 80 □ 85 □ 90 □ 95 □ 100 □ () mm

溶接金網	JIS G 3551	φ6-150×150	φ6-100×100
異形鉄筋	JIS G 3112, 3117	D10-@200	()

接合	焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
打込み鉄	接合箇所は特記による	
頭付きスタッド	JIS B 1198 □φ13 □φ16 □φ19 □φ22	各長さ・ピッチは特記による ※最小長さはデッキ高さ+30mm以上とする。
その他		

耐火	QL99-50	QL99-75
床1時間	□ FP060FL-0100 □ FP060FL-0101 □ FP060FL-0126	□ FP060FL-0102 □ FP060FL-0099
床2時間		□ FP120FL-0127
その他	□ () □ ()	□ () □ ()
指定なし	□ () □ ()	□ () □ ()

特記	支保工有無	その他:
	■ 無 □ 有	

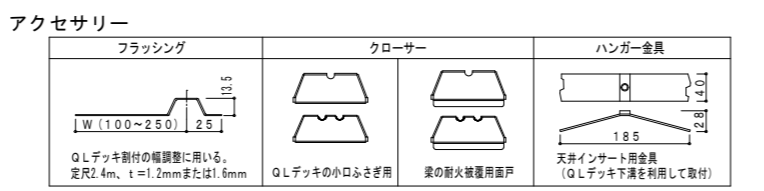
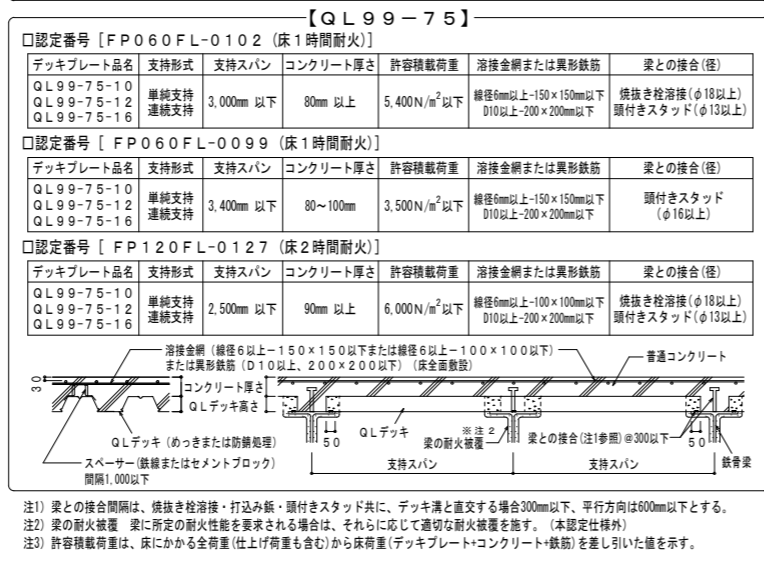


施工順序	敷込み	デッキプレートと梁との接合	検査
墨出し ↓ 敷込み仮止め溶接 ↓ QLデッキと梁との接合 1) 頭付きスタッド 2) 打込み鉄 3) 焼抜き栓溶接 ↓ ひび割れ防止筋敷込み ↓ 検査 ↓ コンクリート打設	鉄骨梁の場合 1) 墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止めの溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。 デッキプレート幅方向のかり代は、50mm以上あることを確認する。(頭付きスタッドの場合は30mm以上) 3) デッキプレート長手方向の大梁のかり代は、50mm以上あることを確認する。	1) 頭付きスタッド 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等接合する。 2) 打込み鉄 施工は打込み鉄製造業者の施工要領による。 施工の仕様等については別途製造業者へ確認下さい。 日本ヒルティ(株) 3) 焼抜き栓溶接 国交省告示第326号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省告示第606号(平成19年5月20日改正)の第2接合ハ(4)焼抜き栓溶接に基づく下配仕様による。(梁フランジの表面処理条件: 膜皮または一般錆止めの塗装) 合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。	【焼抜き栓溶接 (SPW) 及び自動焼抜き栓溶接 (A.P.W.)】 □事前検査 SPW: 適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。 1) 概算設計での計測 2) 溶接棒の消費長さによる確認——未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約3mmに保持し、1.0mm程度の円を描いて10秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが4.5~5.3mmであること。 A.P.W.: 試し溶接を行った後溶接径を確認する。 □溶接後の外観検査 1) 溶接箇所確認 2) 焼き切れ、余剰不足の有無 3) 標準余剰径 SPW: 18mm以上 A.P.W.: 25mm±3 □不良部の補修 SPWの場合: スラッグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。不具合箇所には溶着金属を流し込み必要に応じて補修。 A.P.W.の場合: 重ね溶接して補修する。 【その他】 (1) QLデッキ相互の嵌合状況 (2) ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況

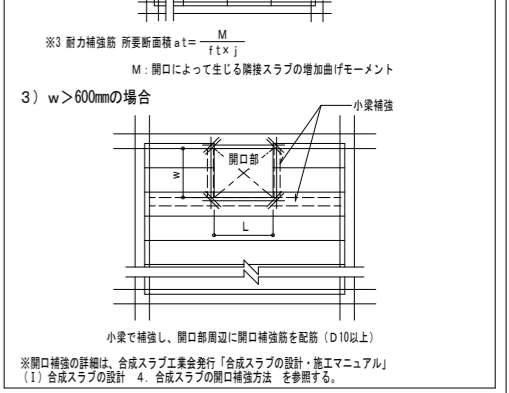
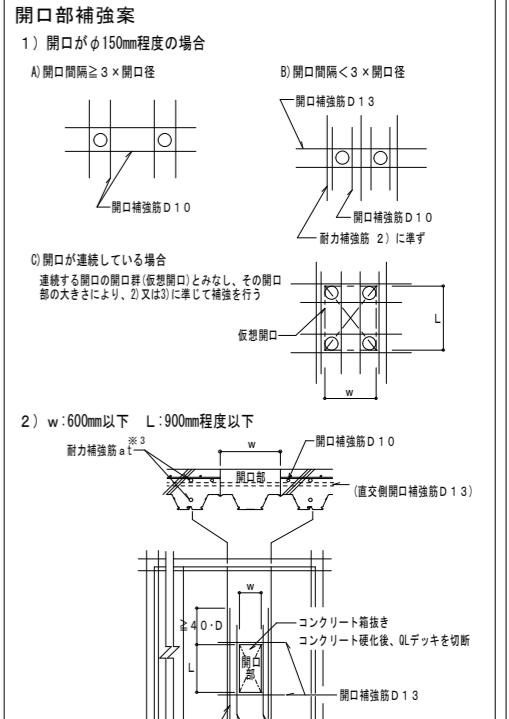
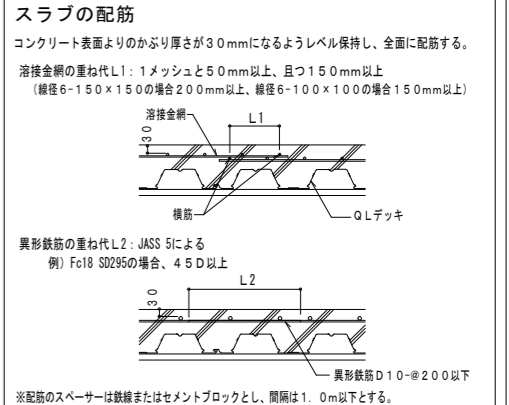
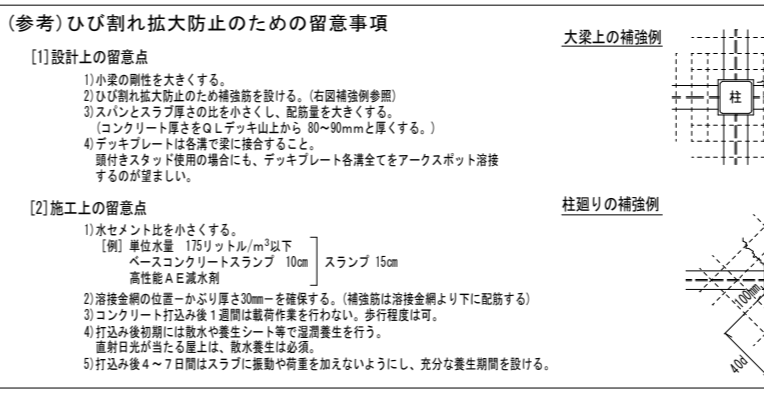
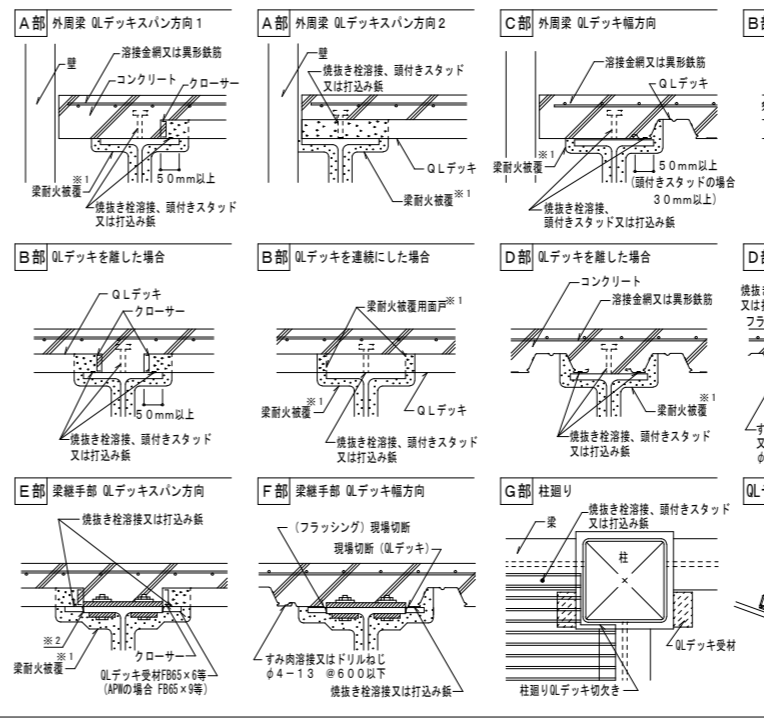
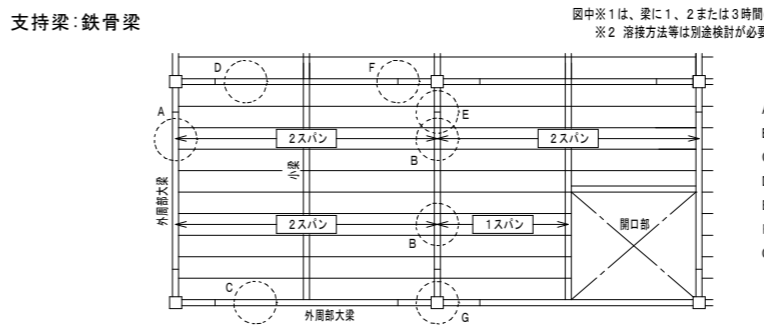
耐火仕様②

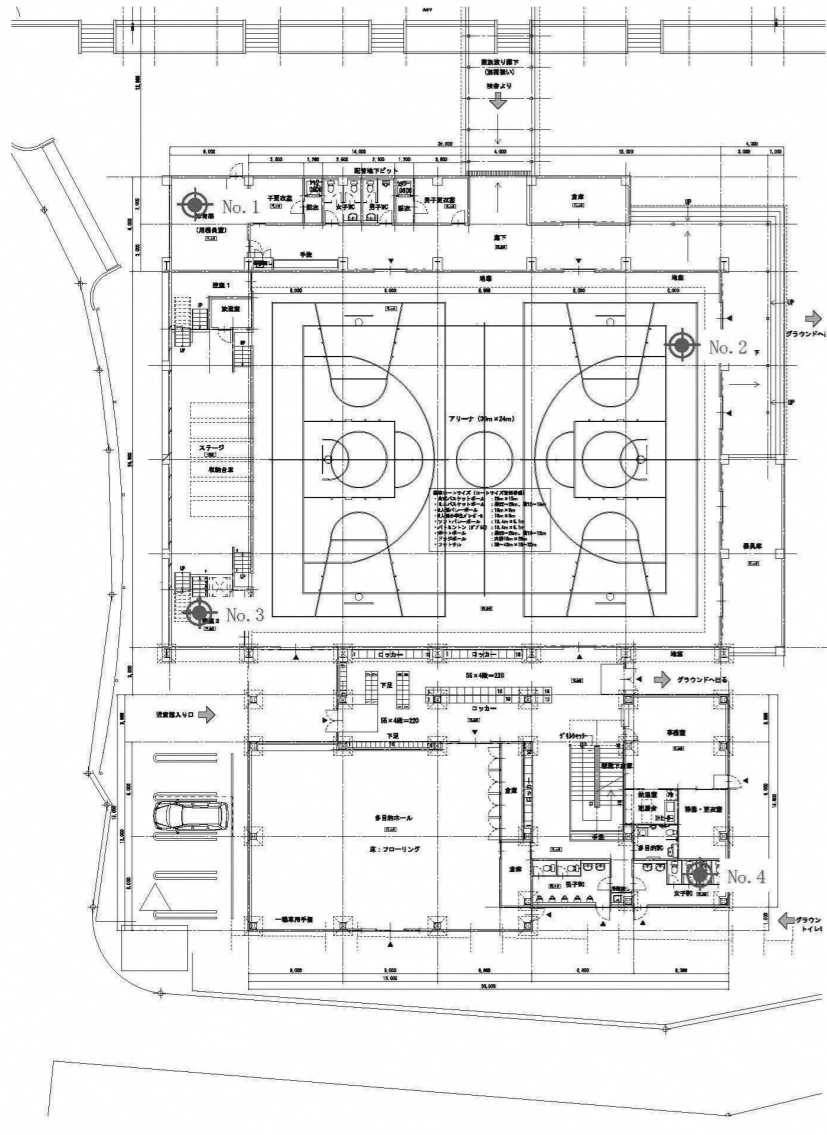
耐火仕様
○共通事項 支持梁: 鉄骨梁、コンクリート: 設計基準強度18~36 N/mm²の普通コンクリート
溶接金網 [JIS G 3551] 又は異形鉄筋 [JIS G 3112, G 3117] 寸法は下表参照
耐火補強筋: 不要

認定番号 [FP060FL-0100 (床1時間耐火)]	認定番号 [FP060FL-0101 (床1時間耐火)]	認定番号 [FP060FL-0126 (床1時間耐火)]																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>デッキプレート品名</th> <th>支持形式</th> <th>支持スパン</th> <th>コンクリート厚さ</th> <th>許容積載荷重</th> <th>溶接金網または異形鉄筋</th> <th>梁との接合(径)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>QL99-50-10</td> <td>単純支持</td> <td>3,000mm以下</td> <td>80mm以上</td> <td>5,400N/m²以下</td> <td>縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下</td> <td>焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)</td> </tr> <tr> <td>QL99-50-12</td> <td>連続支持</td> <td>2,700mm以下</td> <td>80mm以上</td> <td>5,400N/m²以下</td> <td>同上</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>QL99-50-16</td> <td>連続支持</td> <td>2,700mm以下</td> <td>80mm以上</td> <td>5,400N/m²以下</td> <td>同上</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table>	デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)	QL99-50-10	単純支持	3,000mm以下	80mm以上	5,400N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)	QL99-50-12	連続支持	2,700mm以下	80mm以上	5,400N/m ² 以下	同上	同上	QL99-50-16	連続支持	2,700mm以下	80mm以上	5,400N/m ² 以下	同上	同上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>デッキプレート品名</th> <th>支持形式</th> <th>支持スパン</th> <th>コンクリート厚さ</th> <th>許容積載荷重</th> <th>溶接金網または異形鉄筋</th> <th>梁との接合(径)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>QL99-50-10</td> <td>単純支持</td> <td>3,000mm以下</td> <td>80mm以上</td> <td>3,500N/m²以下</td> <td>縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下</td> <td>焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)</td> </tr> <tr> <td>QL99-50-12</td> <td>連続支持</td> <td>3,000mm以下</td> <td>80mm以上</td> <td>3,500N/m²以下</td> <td>同上</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>QL99-50-16</td> <td>連続支持</td> <td>3,000mm以下</td> <td>80mm以上</td> <td>3,500N/m²以下</td> <td>同上</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table>	デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)	QL99-50-10	単純支持	3,000mm以下	80mm以上	3,500N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)	QL99-50-12	連続支持	3,000mm以下	80mm以上	3,500N/m ² 以下	同上	同上	QL99-50-16	連続支持	3,000mm以下	80mm以上	3,500N/m ² 以下	同上	同上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>デッキプレート品名</th> <th>支持形式</th> <th>支持スパン</th> <th>コンクリート厚さ</th> <th>許容積載荷重</th> <th>溶接金網または異形鉄筋</th> <th>梁との接合(径)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>QL99-50-10</td> <td>単純支持</td> <td>2,700mm以下</td> <td>80mm以上</td> <td>7,000N/m²以下</td> <td>縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下</td> <td>頭付きスタッド(φ16以上)</td> </tr> <tr> <td>QL99-50-12</td> <td>連続支持</td> <td>2,700mm以下</td> <td>80mm以上</td> <td>7,000N/m²以下</td> <td>同上</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>QL99-50-16</td> <td>連続支持</td> <td>2,700mm以下</td> <td>80mm以上</td> <td>7,000N/m²以下</td> <td>同上</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table>	デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)	QL99-50-10	単純支持	2,700mm以下	80mm以上	7,000N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	頭付きスタッド(φ16以上)	QL99-50-12	連続支持	2,700mm以下	80mm以上	7,000N/m ² 以下	同上	同上	QL99-50-16	連続支持	2,700mm以下	80mm以上	7,000N/m ² 以下	同上	同上
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)																																																																																
QL99-50-10	単純支持	3,000mm以下	80mm以上	5,400N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)																																																																																
QL99-50-12	連続支持	2,700mm以下	80mm以上	5,400N/m ² 以下	同上	同上																																																																																
QL99-50-16	連続支持	2,700mm以下	80mm以上	5,400N/m ² 以下	同上	同上																																																																																
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)																																																																																
QL99-50-10	単純支持	3,000mm以下	80mm以上	3,500N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)																																																																																
QL99-50-12	連続支持	3,000mm以下	80mm以上	3,500N/m ² 以下	同上	同上																																																																																
QL99-50-16	連続支持	3,000mm以下	80mm以上	3,500N/m ² 以下	同上	同上																																																																																
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)																																																																																
QL99-50-10	単純支持	2,700mm以下	80mm以上	7,000N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	頭付きスタッド(φ16以上)																																																																																
QL99-50-12	連続支持	2,700mm以下	80mm以上	7,000N/m ² 以下	同上	同上																																																																																
QL99-50-16	連続支持	2,700mm以下	80mm以上	7,000N/m ² 以下	同上	同上																																																																																



標準納まり

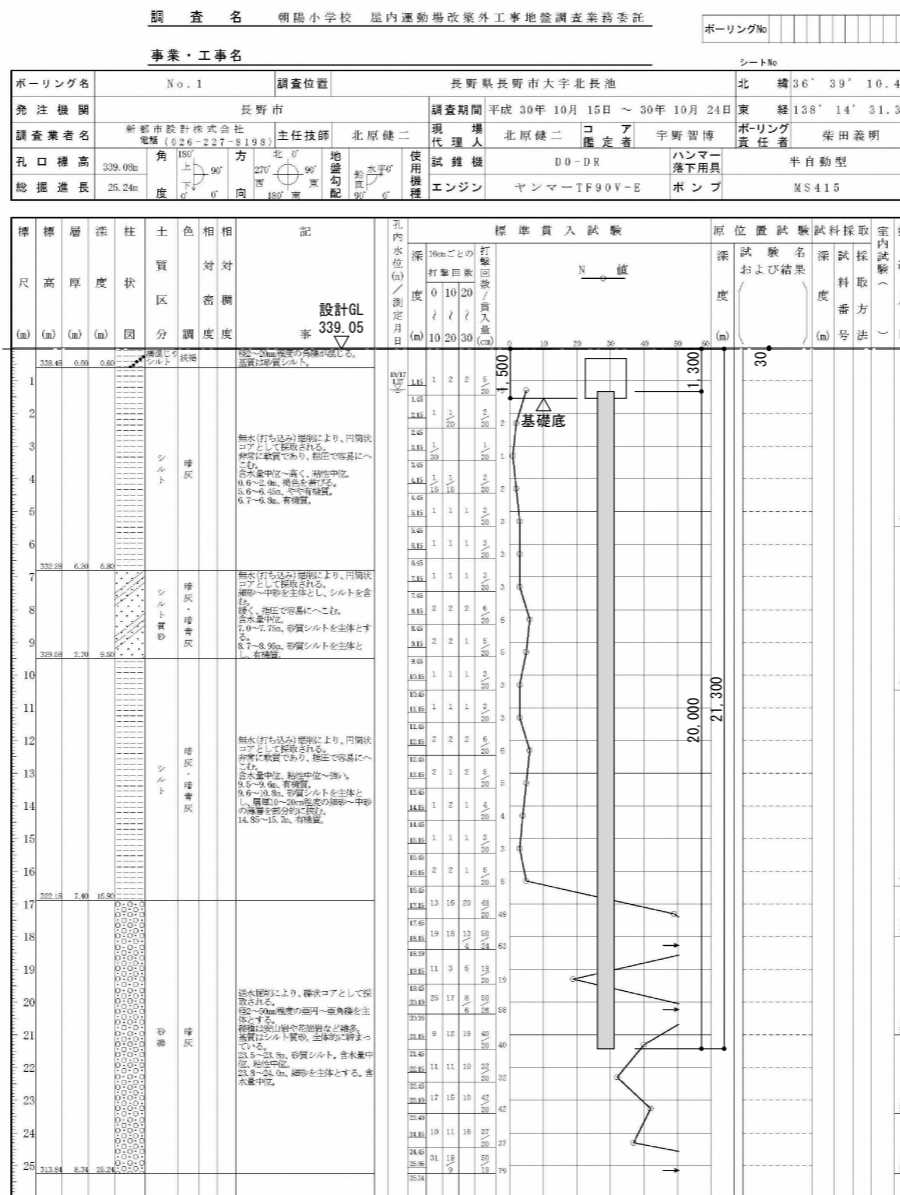




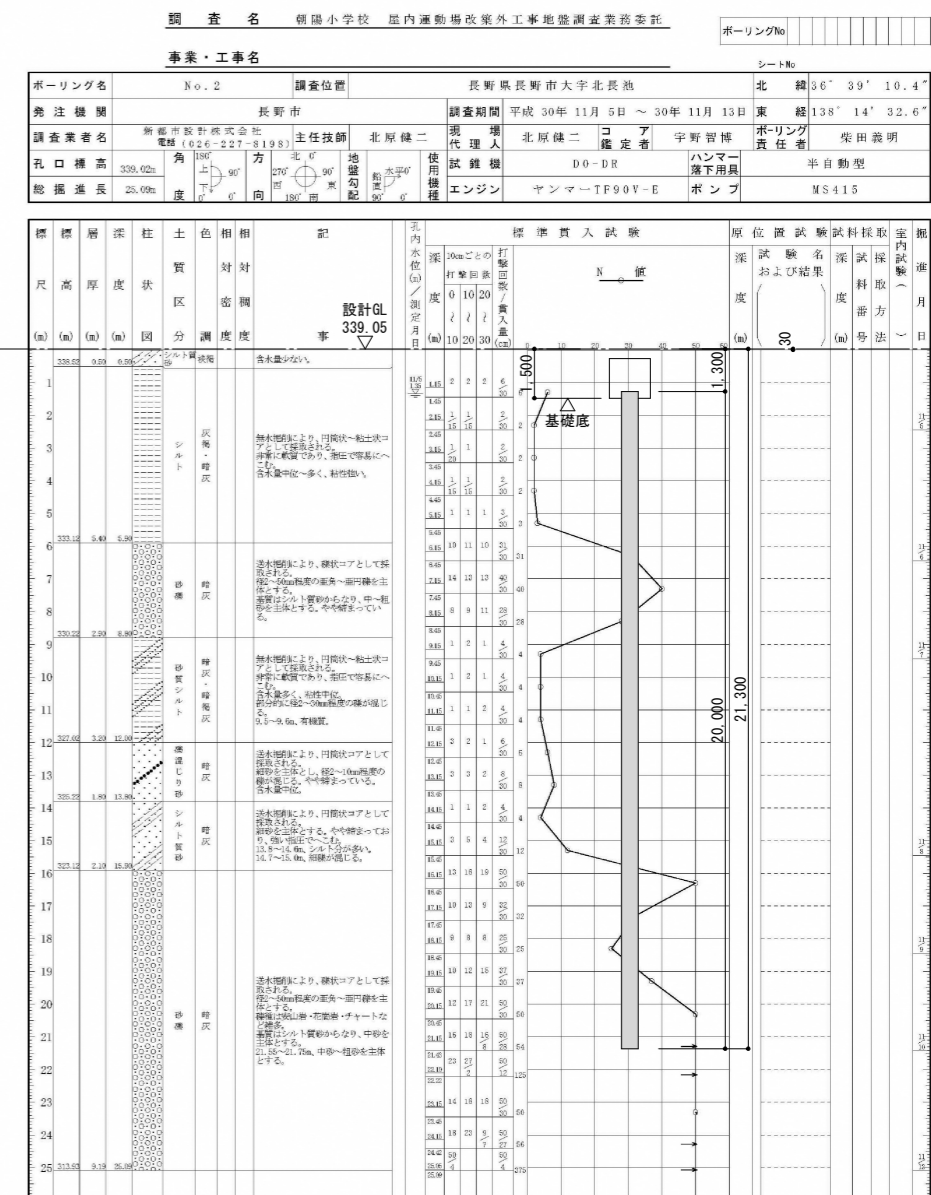
ボーリング位置図

設計GL=339.05m

ボーリング柱状図



ボーリング柱状図



構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

SNS 新日本設計株式会社
長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日 設計 検図 工事名称 国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事
製図 検印 図面名称 土質柱状図(1) 縮尺 (A1) (A3) 図面番号 S-09

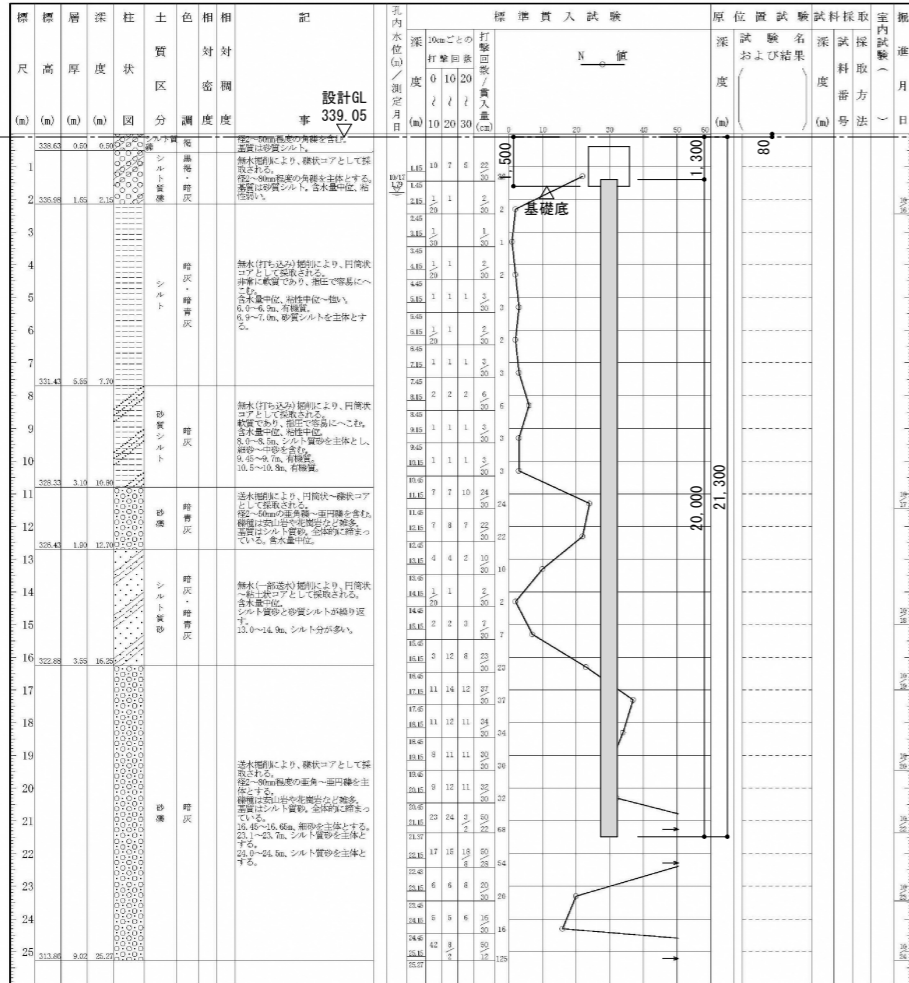
ボーリング柱状図

調査名 朝陽小学校 屋内運動場改築外工事地盤調査業務委託

ボーリングNo. シートNo.

事業・工事名

Table with survey details: No. 3, location (長野市), dates (平成30年10月16日 ~ 30年10月26日), and personnel (主任技師 北原 隼二, etc.).



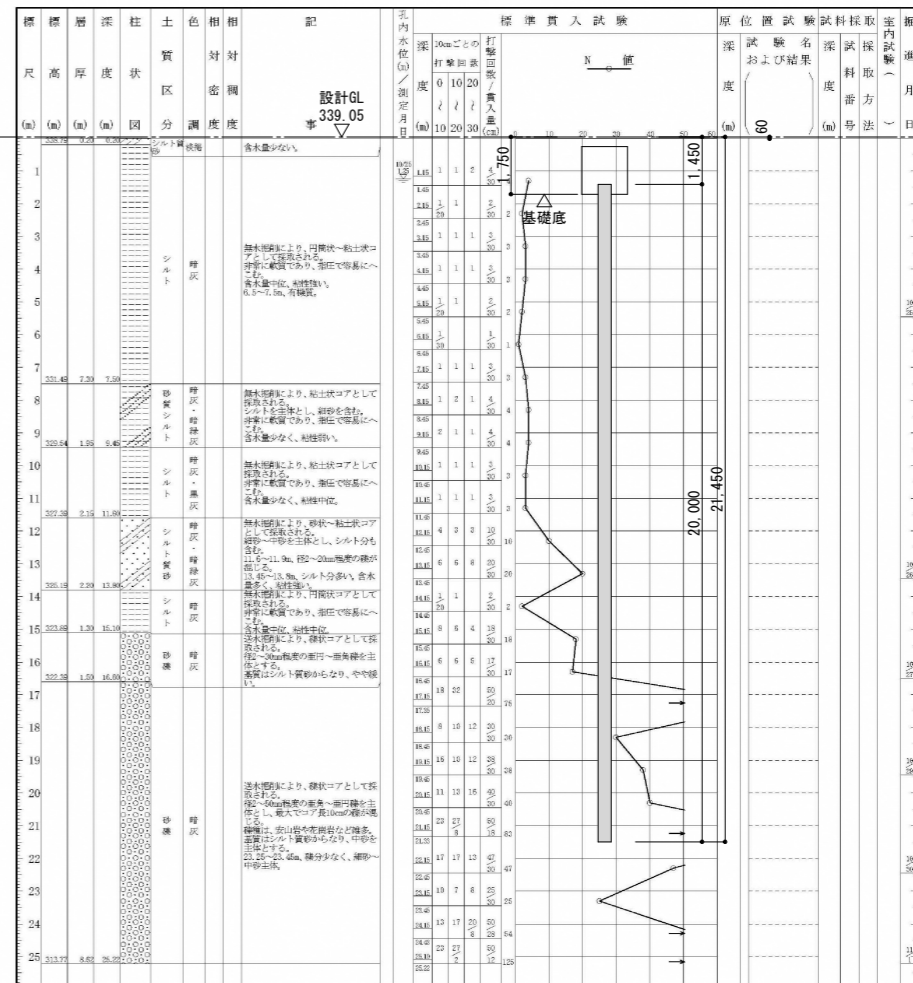
ボーリング柱状図

調査名 朝陽小学校 屋内運動場改築外工事地盤調査業務委託

ボーリングNo. シートNo.

事業・工事名

Table with survey details: No. 4, location (長野市), dates (平成30年10月24日 ~ 30年11月2日), and personnel (主任技師 北原 隼二, etc.).



構造担当者 一級建築士登録 第224598号 構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号 1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日

設計

検図

工事名称

国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事

図面番号

S-10

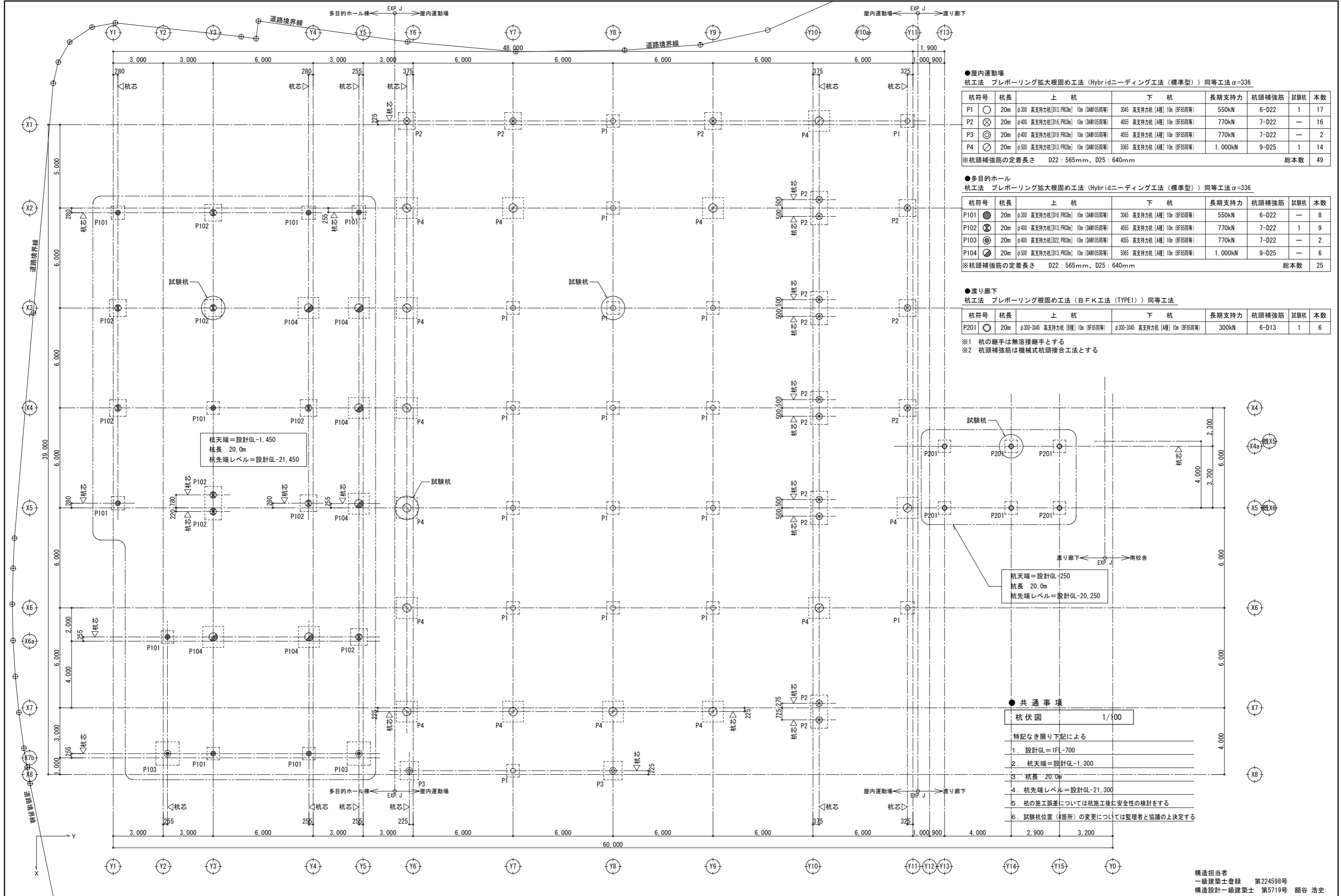
製図

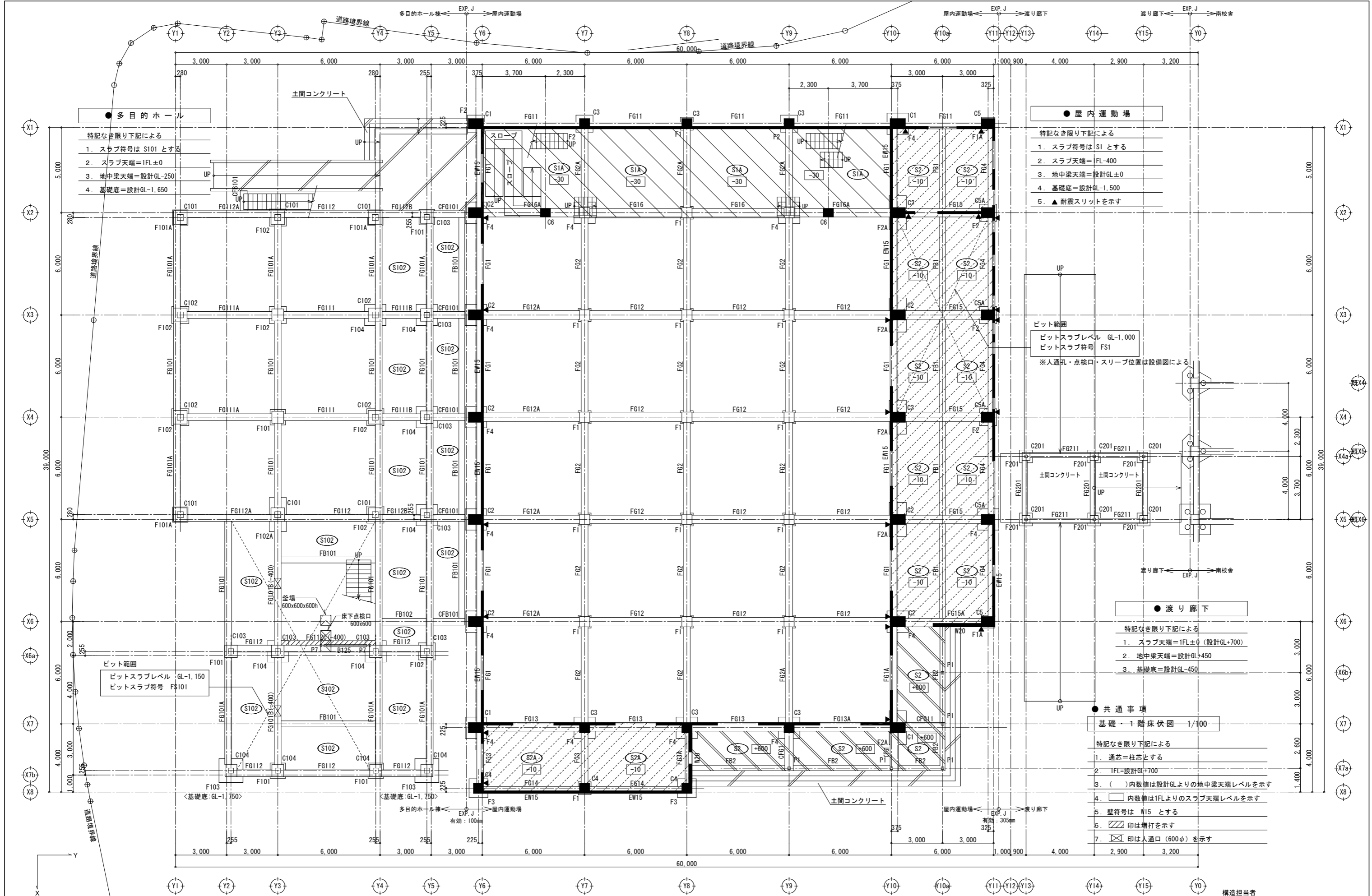
検印

図面名称

土質柱状図(2)

縮尺 (A1) (A3)





● 多目的ホール

特記なき限り下記による

1. スラブ符号は S101 とする
2. スラブ天端 = FL±0
3. 地中梁天端 = 設計GL-250
4. 基礎底 = 設計GL-1.650

● 屋内運動場

特記なき限り下記による

1. スラブ符号は S1 とする
2. スラブ天端 = FL-400
3. 地中梁天端 = 設計GL±0
4. 基礎底 = 設計GL-1.500
5. ▲ 耐震スリットを示す

ピット範囲

ピットスラブレベル GL-1.000
ピットスラブ符号 FS1

※ 人通り・点検口・スリブ位置は設備図による

ピット範囲

ピットスラブレベル GL-1.150
ピットスラブ符号 FS101

● 渡り廊下

特記なき限り下記による

1. スラブ天端 = FL±0 (設計GL+700)
2. 地中梁天端 = 設計GL+450
3. 基礎底 = 設計GL-450

● 共通事項

基礎・1階床伏図 1/400

特記なき限り下記による

1. 通芯=柱芯とする
2. IFL=設計GL+700
3. ()内数値は設計GLよりの地中梁天端レベルを示す
4. □内数値はIFLよりのスラブ天端レベルを示す
5. 壁符号は W15 とする
6. //印は増打を示す
7. ⊠印は人通り (600φ) を示す

訂正

SNS 新日本設計株式会社

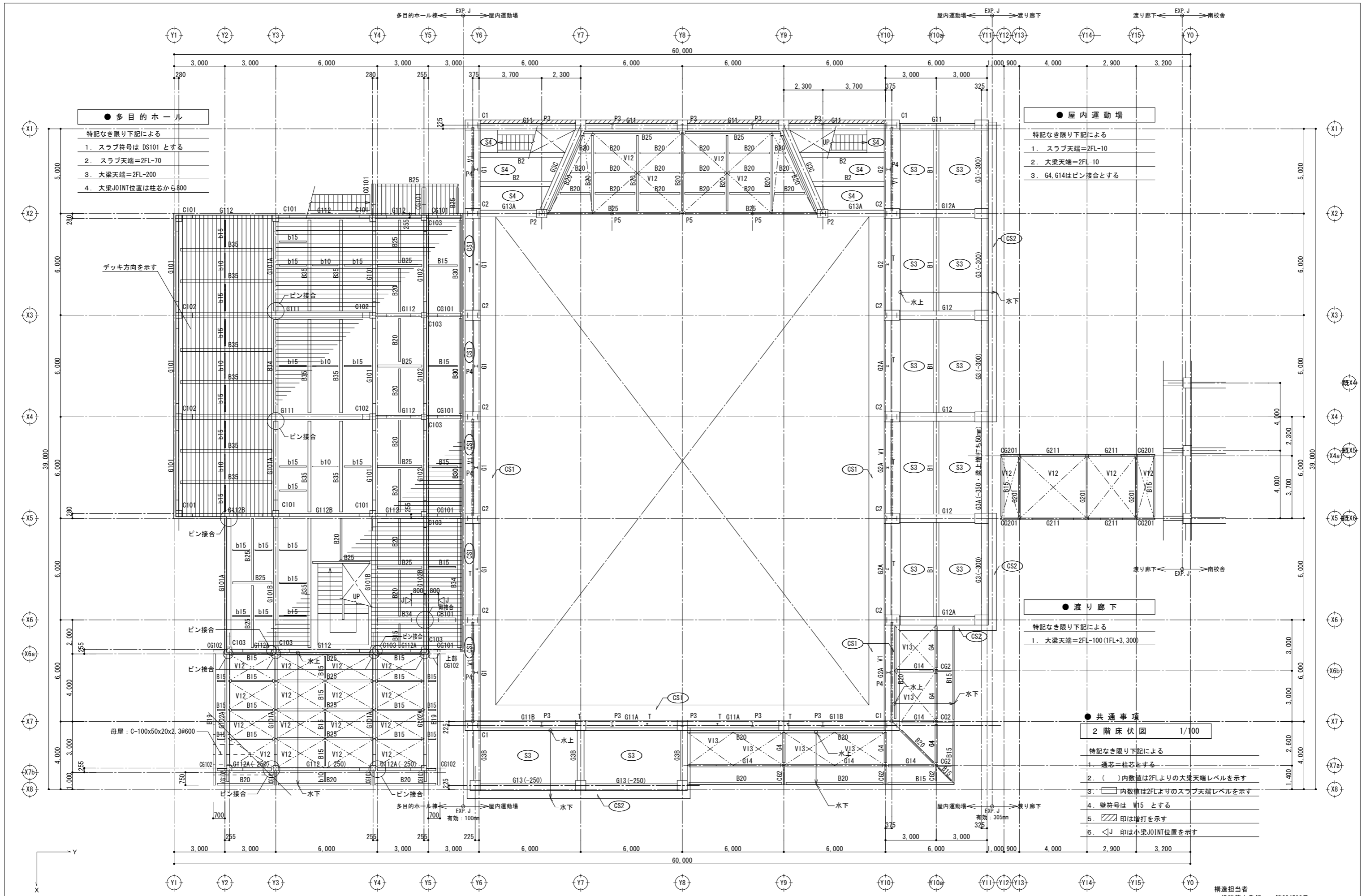
長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録 (長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日 設計 検図
製図 検印

工事名称 国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事
図面名称 基礎・1階床伏図

構造担当者 一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

図面番号 S-12
縮尺 1:100 (A1)
1:200 (A3)



● 多目的ホール

特記なき限り下記による

1. スラブ符号は DS101 とする
2. スラブ天端=2FL-70
3. 大梁天端=2FL-200
4. 大梁JOINT位置は柱芯から800

● 屋内運動場

特記なき限り下記による

1. スラブ天端=2FL-10
2. 大梁天端=2FL-10
3. G4, G14はピン接合とする

● 渡り廊下

特記なき限り下記による

1. 大梁天端=2FL-100(1FL+3,300)

● 共通事項

2階床伏図 1/100

特記なき限り下記による

1. 通芯=柱芯とする
2. ()内数値は2FLよりの大梁天端レベルを示す
3. □内数値は2FLより大梁天端レベルを示す
4. 壁符号は W15 とする
5. //印は増打を示す
6. <J印は小梁JOINT位置を示す

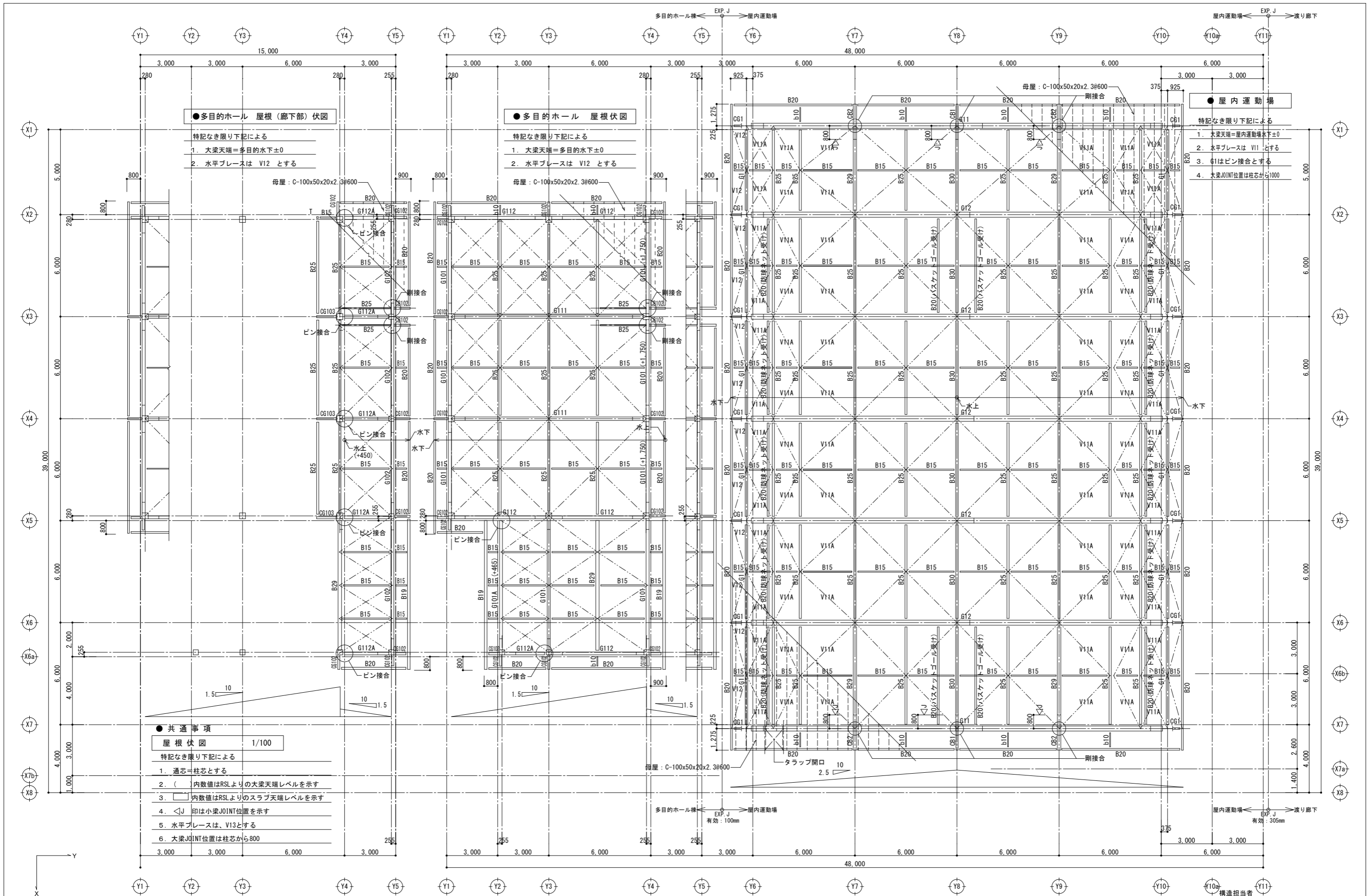
訂正

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日	設計	検 図	工事名称	図面番号
	製 図	検 印	国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事	S-13
			図面名称	縮 尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)
			2階床伏図	

構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史



●多目的ホール 屋根（廊下部）伏図

- 特記なき限り下記による
1. 大梁天端=多目的水士±0
 2. 水平ブレースは V12 とする

●多目的ホール 屋根伏図

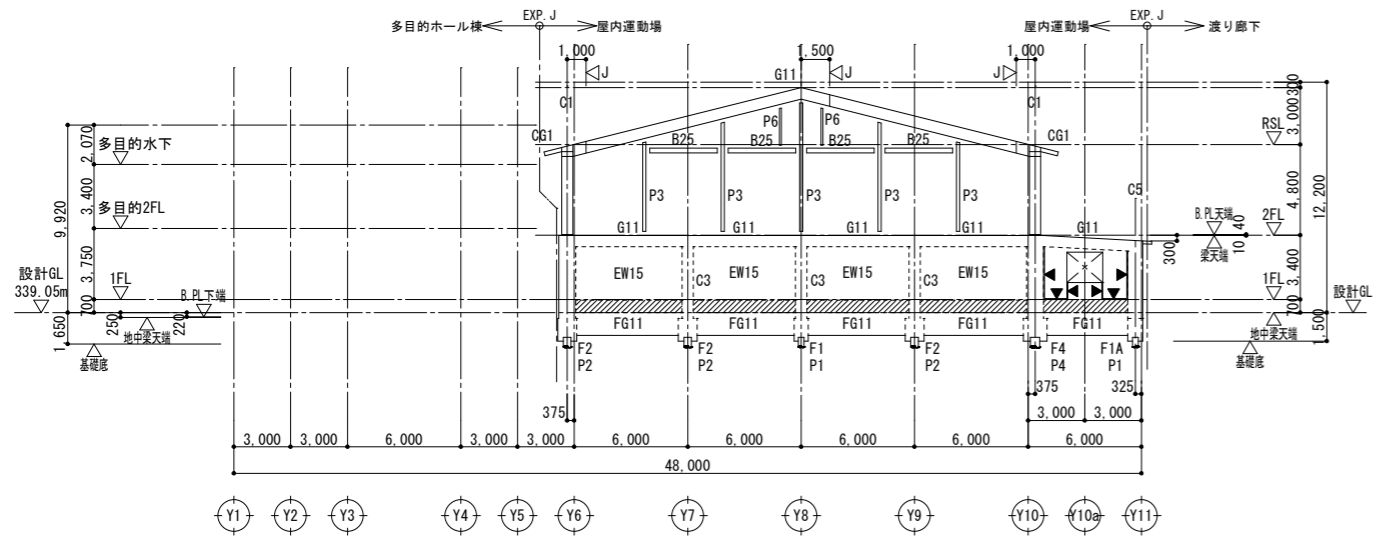
- 特記なき限り下記による
1. 大梁天端=多目的水士±0
 2. 水平ブレースは V12 とする

●屋内運動場

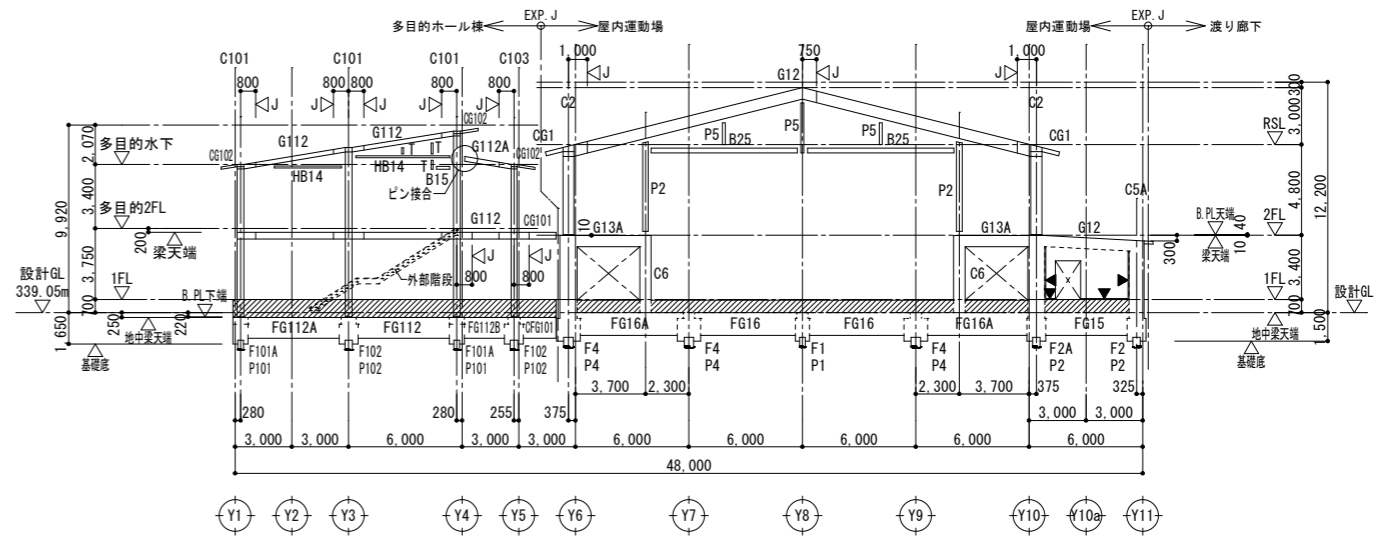
- 特記なき限り下記による
1. 大梁天端=屋内運動場水士±0
 2. 水平ブレースは V11 とする
 3. G1はピン接合とする
 4. 大梁JOINT位置は柱芯から1000

●共通事項

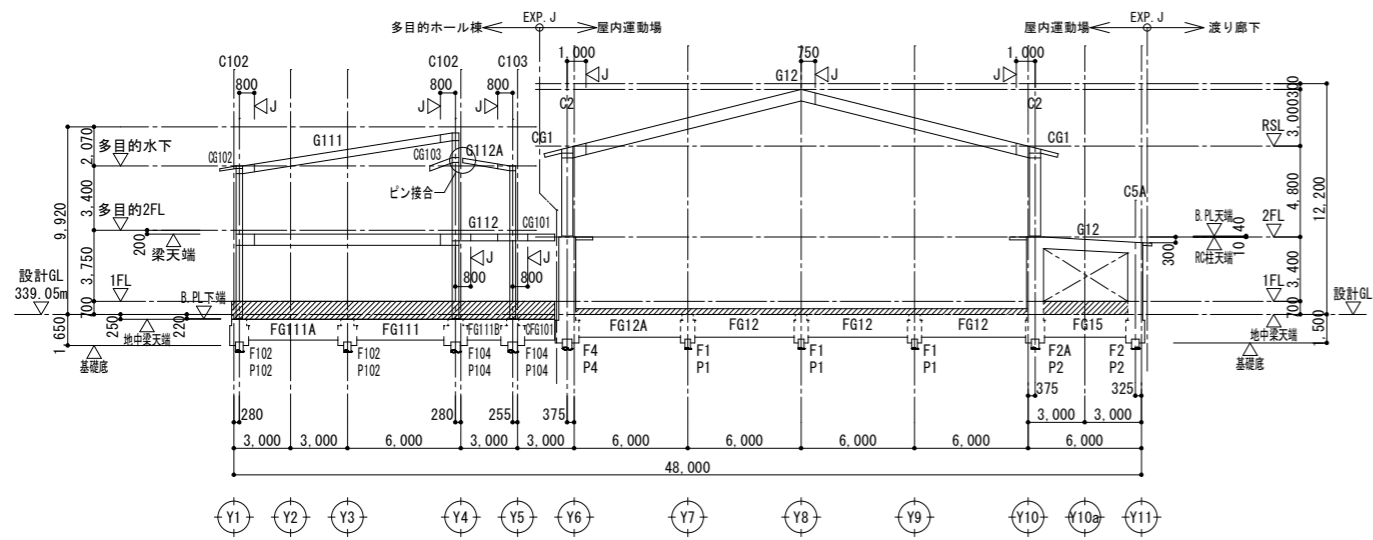
- 屋根伏図 1/100
- 特記なき限り下記による
1. 通芯=柱芯とする
 2. () 内数値はRSLよりの大梁天端レベルを示す
 3. □ 内数値はRSLよりのスラブ天端レベルを示す
 4. <J> 印は小梁JOINT位置を示す
 5. 水平ブレースは、V13とする
 6. 大梁JOINT位置は柱芯から800



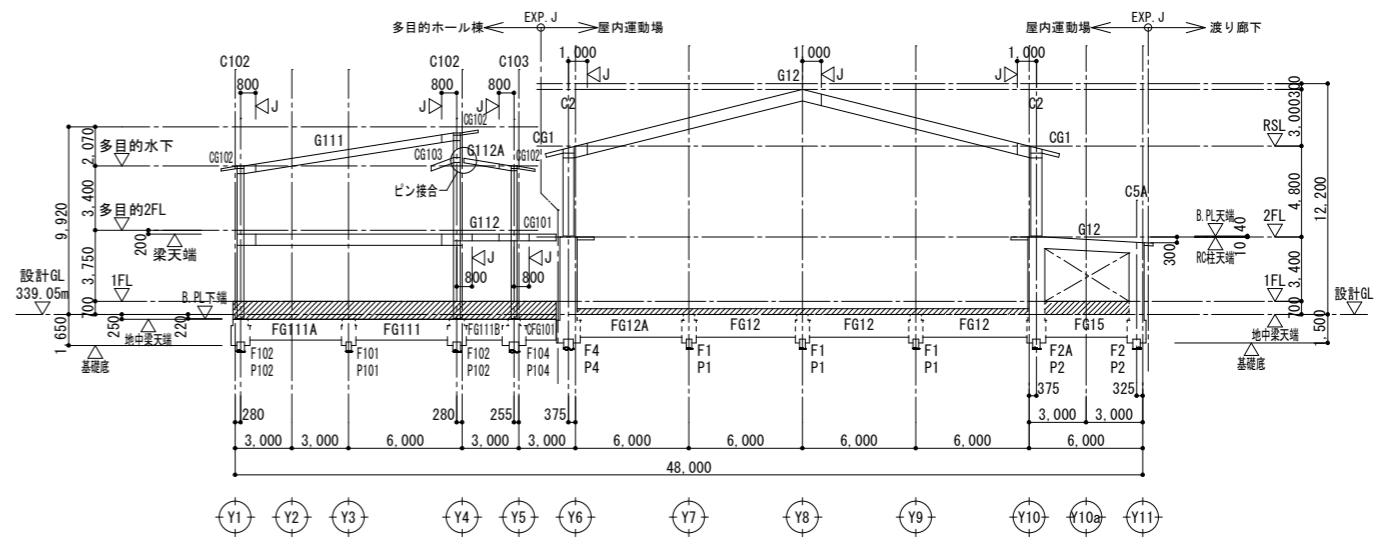
(X1) 通り軸組図 1:200



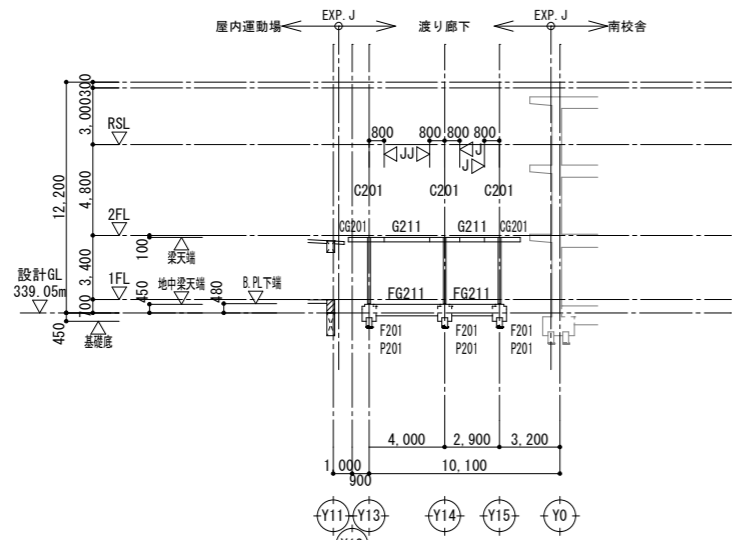
(X2) 通り軸組図 1:200



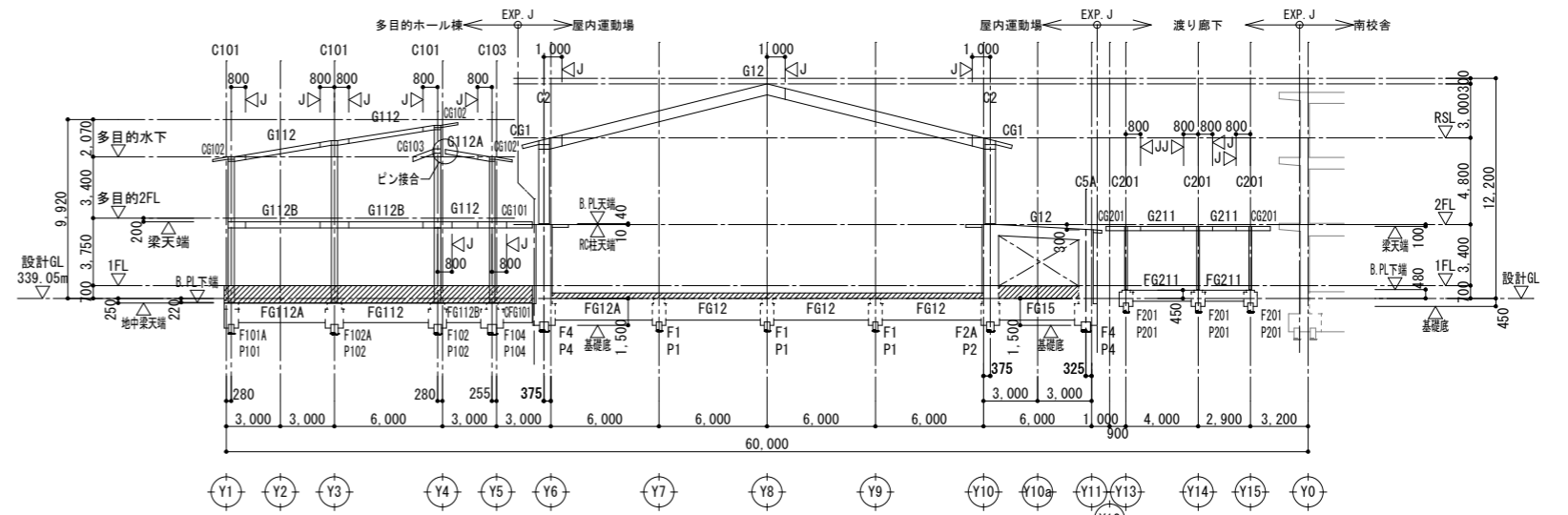
(X3) 通り軸組図 1:200



(X4) 通り軸組図 1:200



(X4a) 通り軸組図 1:200



(X5) 通り軸組図 1:200

特記なき限り下記による

- | | | |
|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 符号は上階に同じ | 5. 壁符号はW15を示す | 8. 表記の無い開口部補強については「外壁工事」とする |
| 2. 柱芯=通り芯=基礎芯 | 6. ---印は崩線を示す | |
| 3. <J> は鉄骨継手位置を示す | 7. <K>印は耐震スリット(全貫通)を示す | |
| 4. <Z>印は増打を示す | ただし、袖壁長さ200mm未満は鉛直スリット不要 | |

構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日

設計

検図

工事名称

国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事

図面番号

S-15

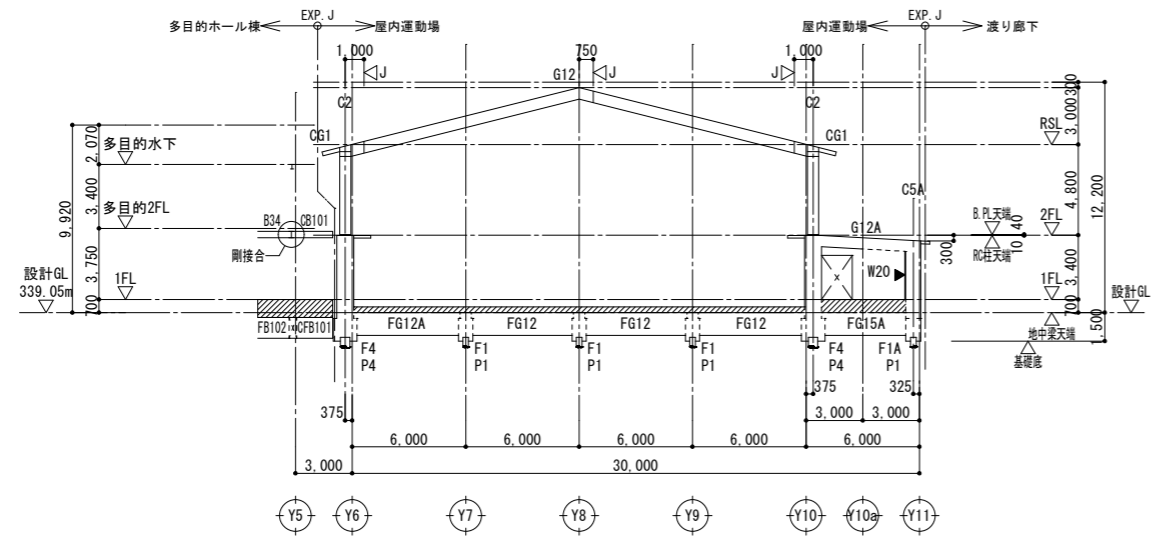
製図

検印

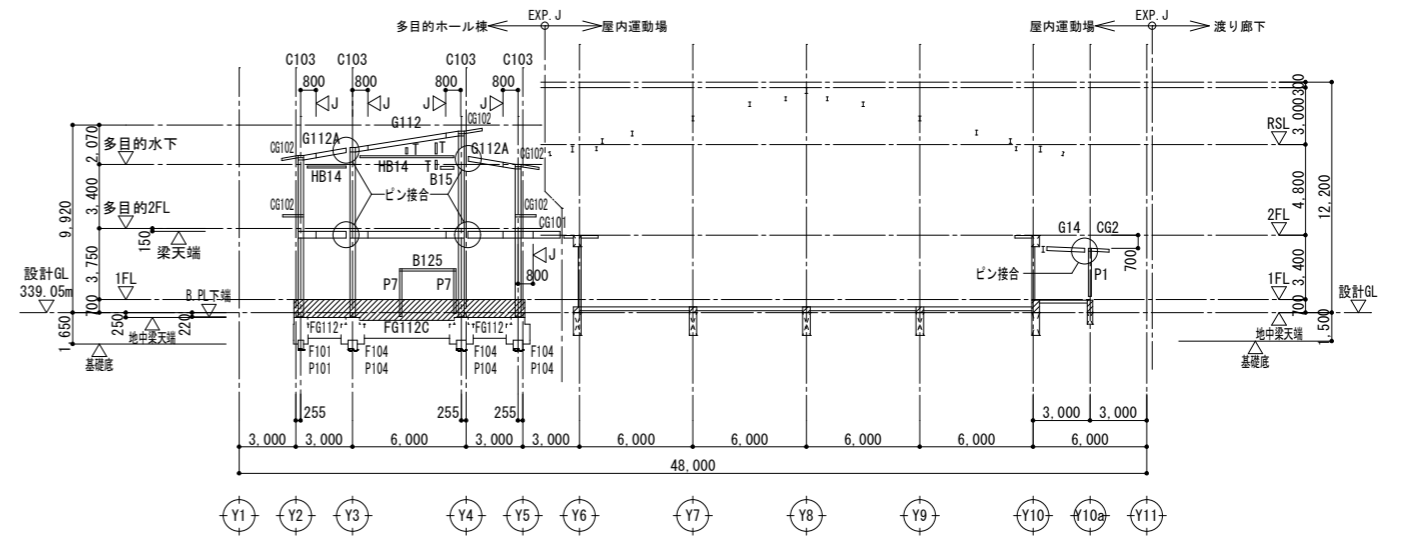
図面名称

軸組図(1)

縮尺 1:200 (A1)
1:400 (A3)

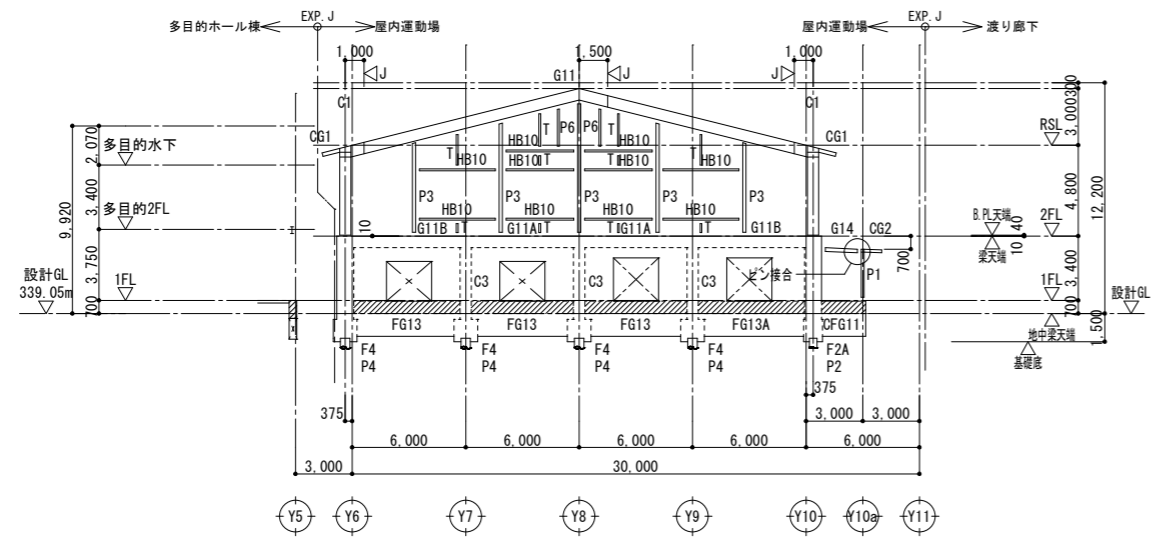


(X6) 通り軸組図 1:200

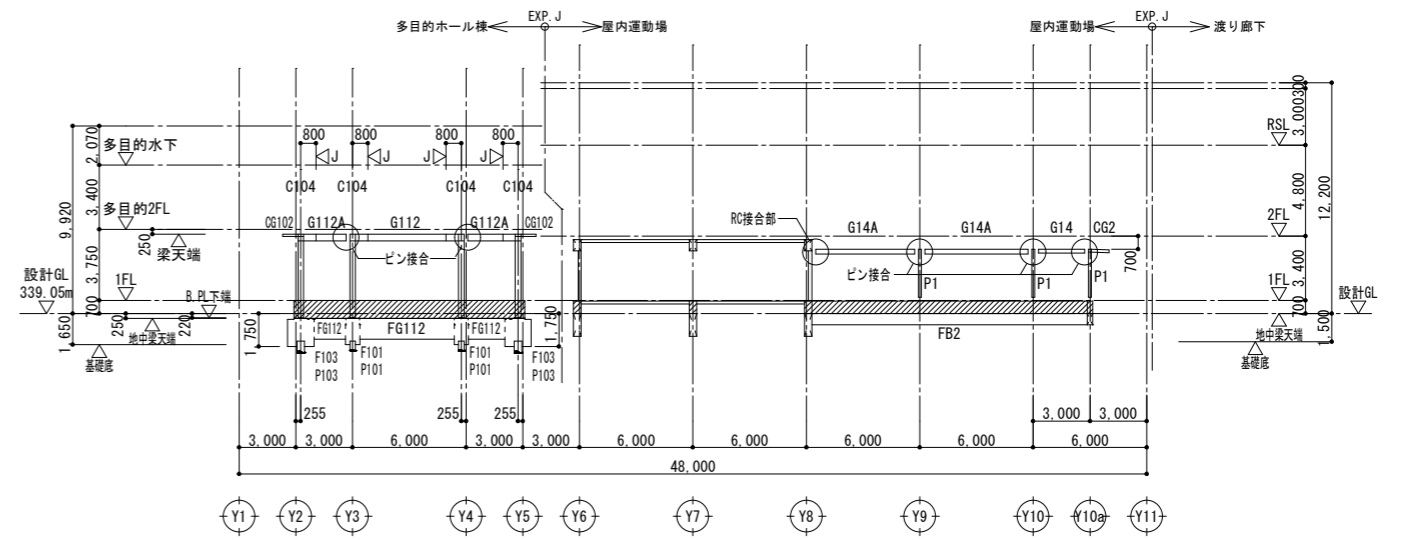


(X6a) 通り軸組図 1:200

(X6b) 通り軸組図 1:200

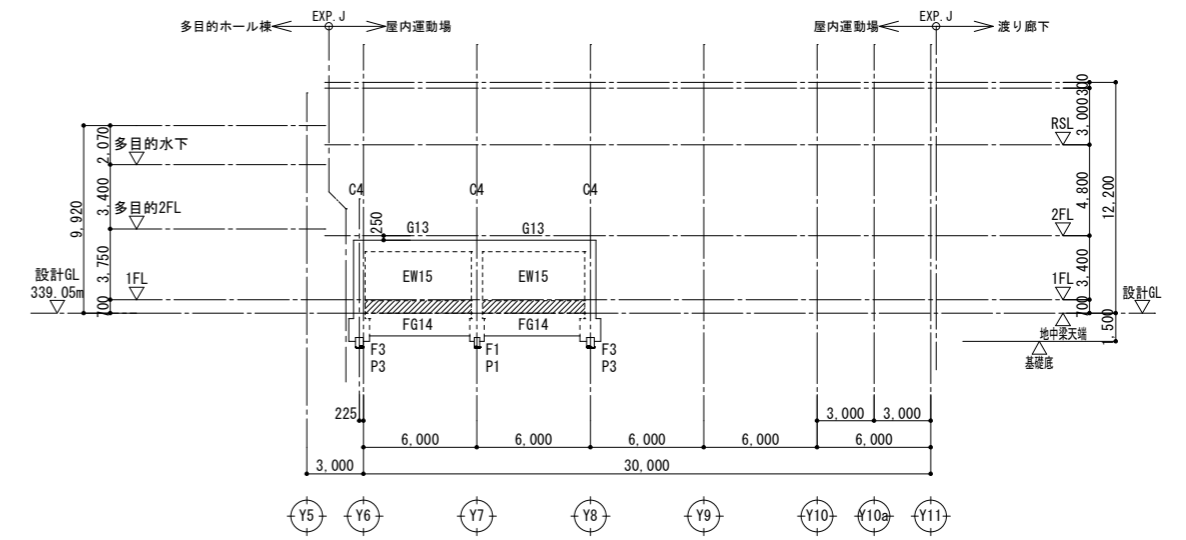


(X7) 通り軸組図 1:200



(X7b) 通り軸組図 1:200

(X7a) 通り軸組図 1:200



(X8) 通り軸組図 1:200

特記なき限り下記による

- | | | |
|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 符号は上階に同じ | 5. 壁符号はW15を示す | 8. 表記の無い開口部補強については「外壁工事」とする |
| 2. 柱芯=通り芯=基礎芯 | 6. ---印は崩線を示す | |
| 3. <J> は鉄骨継手位置を示す | 7. ≡印は耐震スリット(全貫通)を示す | |
| 4. ≡印は増打を示す | ただし、袖壁長さ200mm未満は鉛直スリット不要 | |

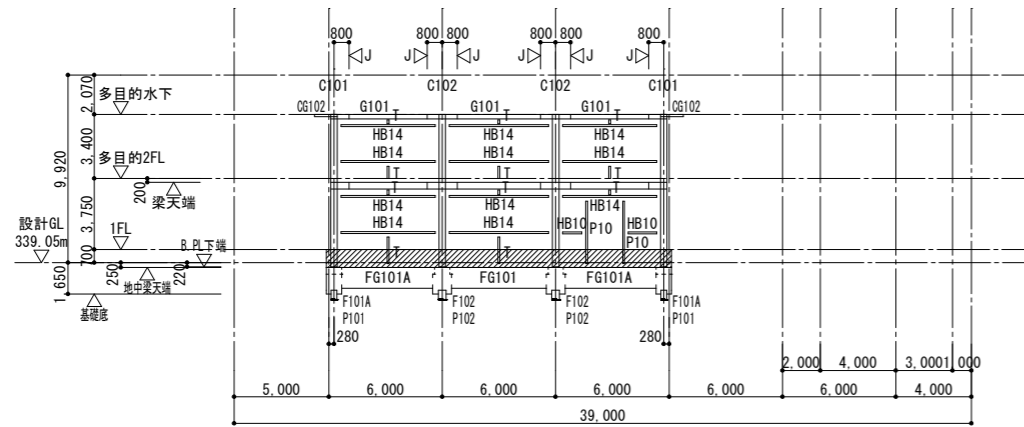
構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

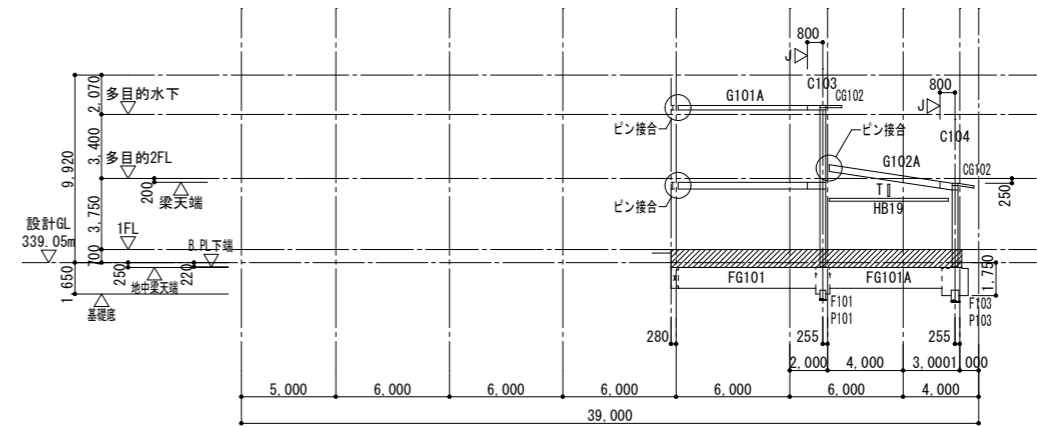
SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

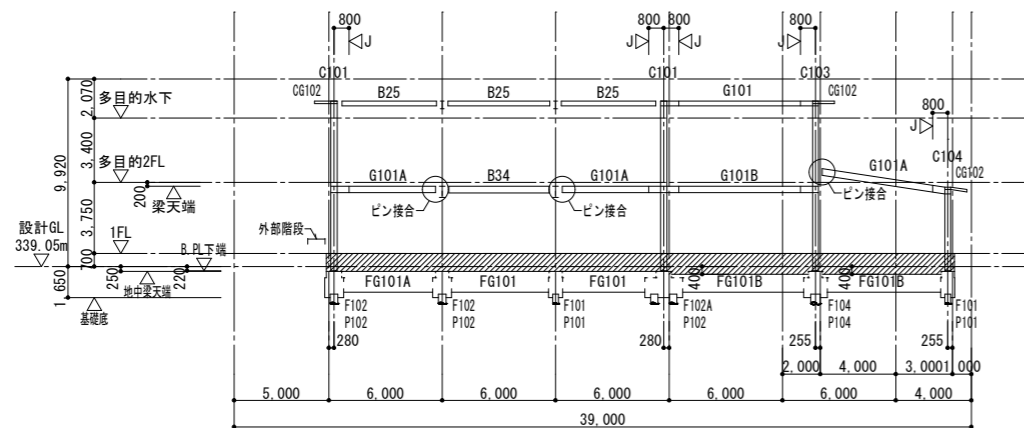
設計年月日	設計	検 図	工事名称	図面番号
			国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事	S-16
	製 図	検 印	図面名称	縮 尺 1:200 (A1) 1:400 (A3)
			軸組図(2)	



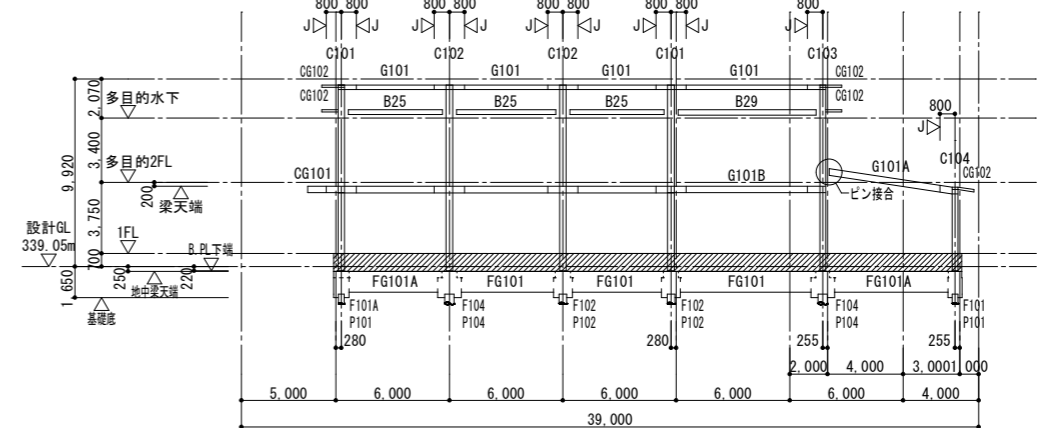
Y1 通り軸組図 1:200



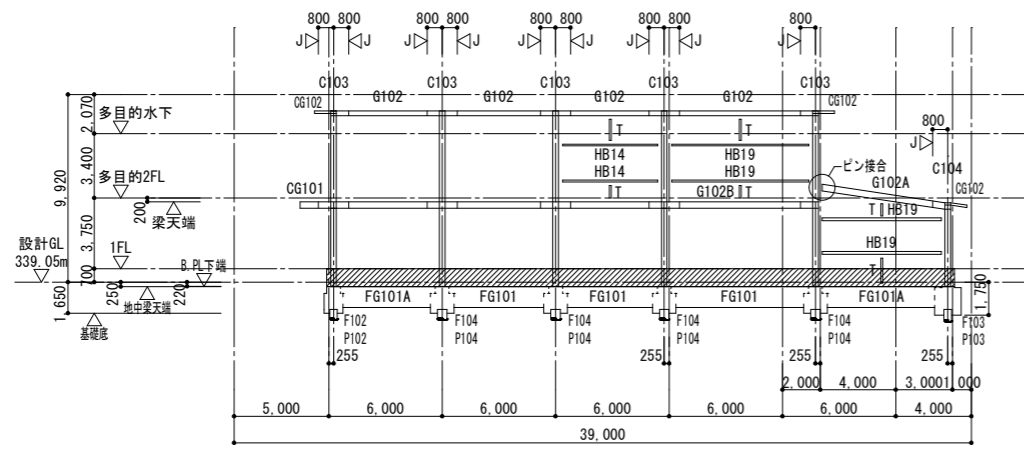
Y2 通り軸組図 1:200



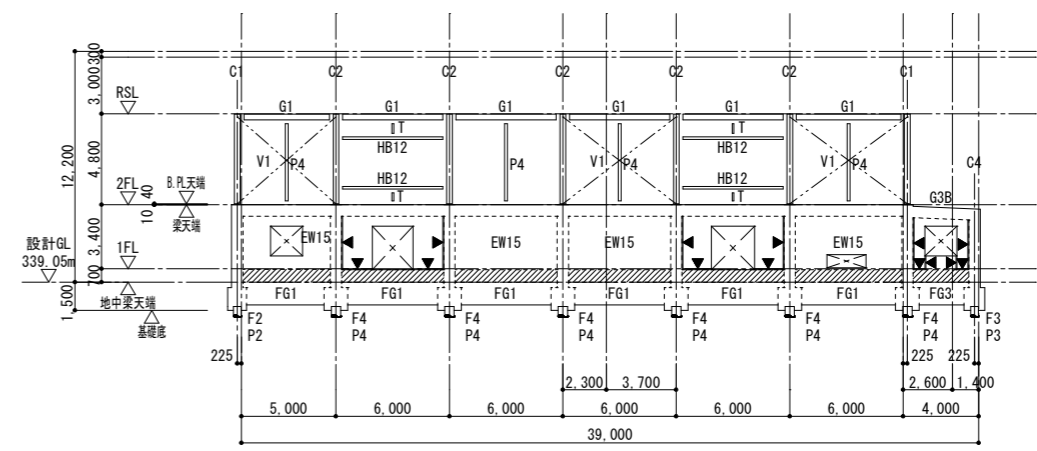
Y3 通り軸組図 1:200



Y4 通り軸組図 1:200



Y5 通り軸組図 1:200



Y6 通り軸組図 1:200

特記なき限り下記による

- | | | |
|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 符号は上階に同じ | 5. 壁符号はW15を示す | 8. 表記の無い開口部補強については「外壁工事」とする |
| 2. 柱芯=通り芯=基礎芯 | 6. ---印は胴縁を示す | |
| 3. <J> は鉄骨継手位置を示す | 7. ≡印は耐震スリット(全貫通)を示す | |
| 4. ≡印は増打を示す | ただし、袖壁長さ200mm未満は鉛直スリット不要 | |

構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日

設計

検図

工事名称 国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事

図面番号

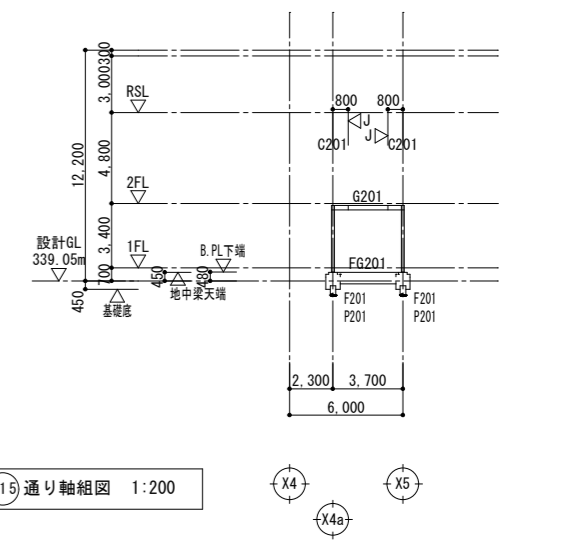
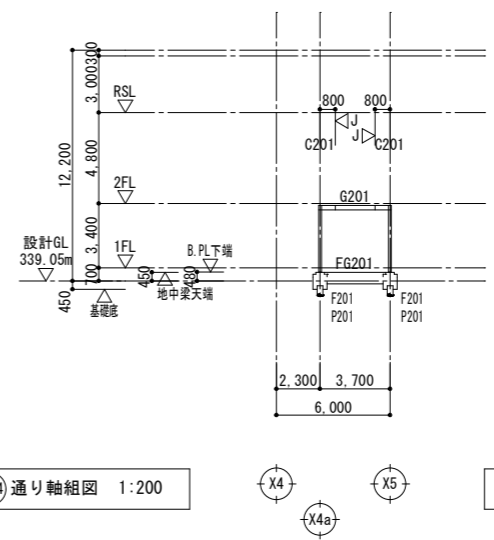
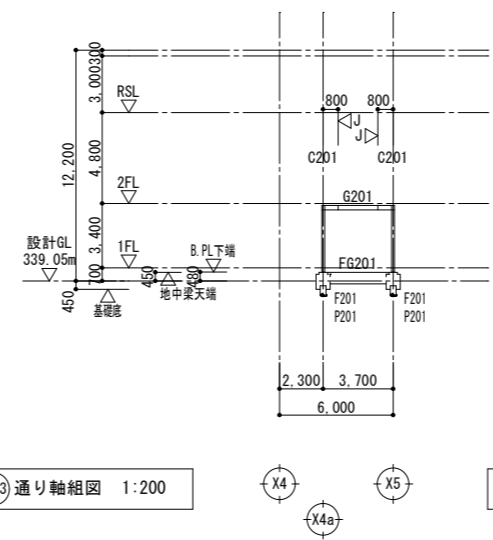
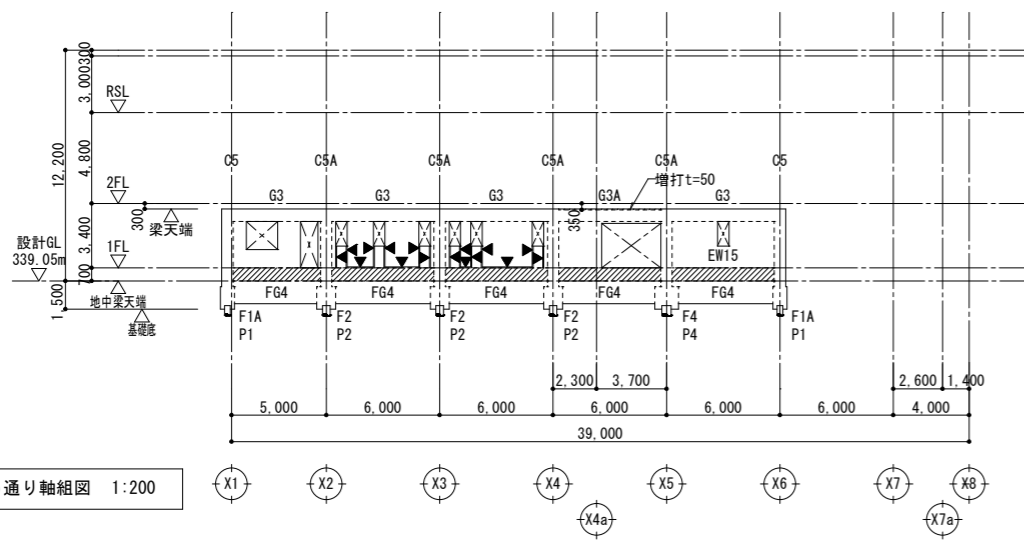
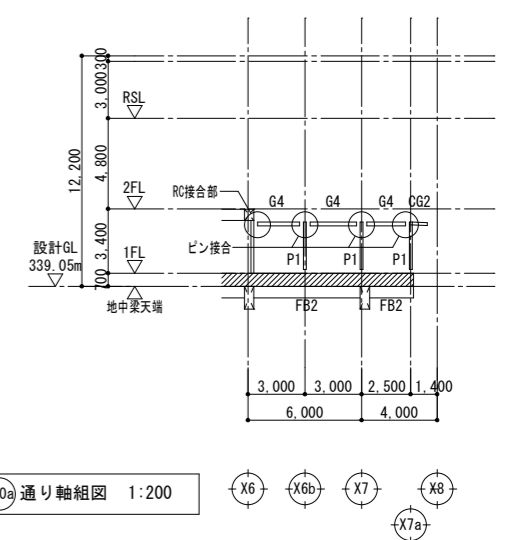
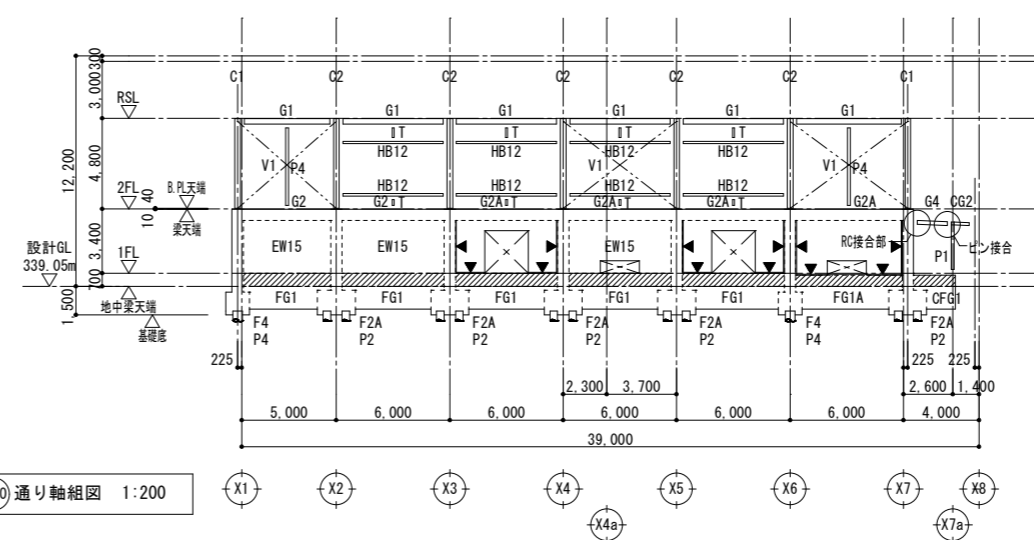
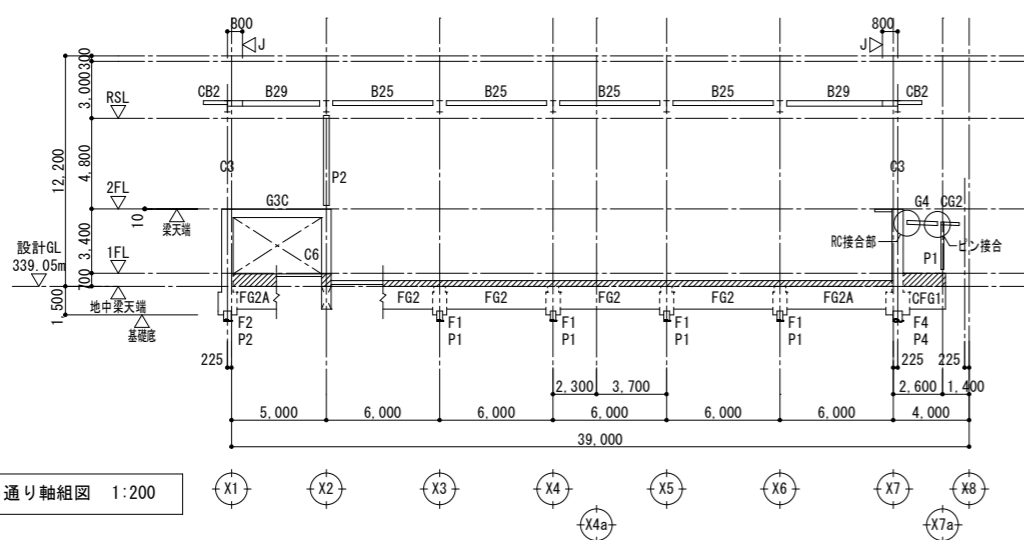
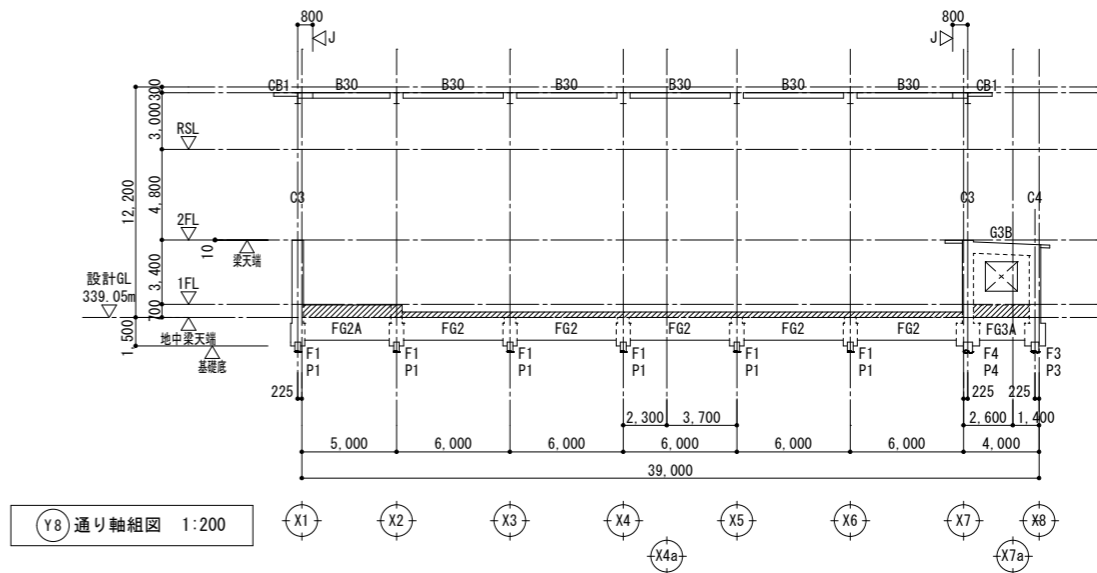
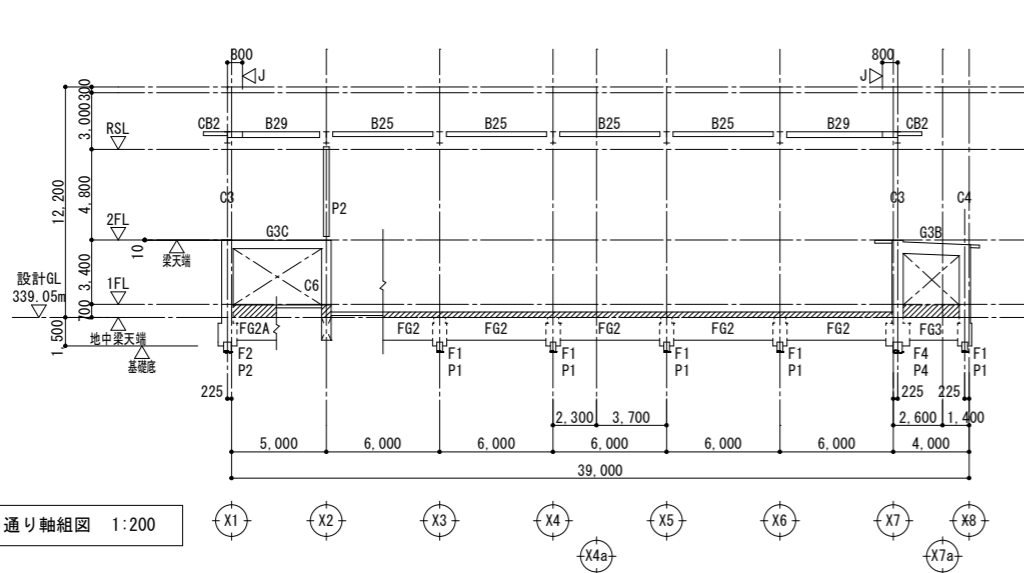
製図

検印

図面名称 軸組図(3)

縮尺 1:200 (A1)
1:400 (A3)

S-17



- 特記なき限り下記による
1. 符号は上階に同じ
 2. 柱芯=通り芯=基礎芯
 3. <J> は鉄骨継手位置を示す
 4. //印は増打を示す
 5. 壁符号はW15を示す
 6. ---印は鋼線を示す
 7. <K>印は耐震スリット(全貫通)を示す
ただし、袖壁長さ200mm未満は鉛直スリット不要
 8. 表記の無い開口部補強については「外壁工事」とする

訂正

SNS 新日本設計株式会社

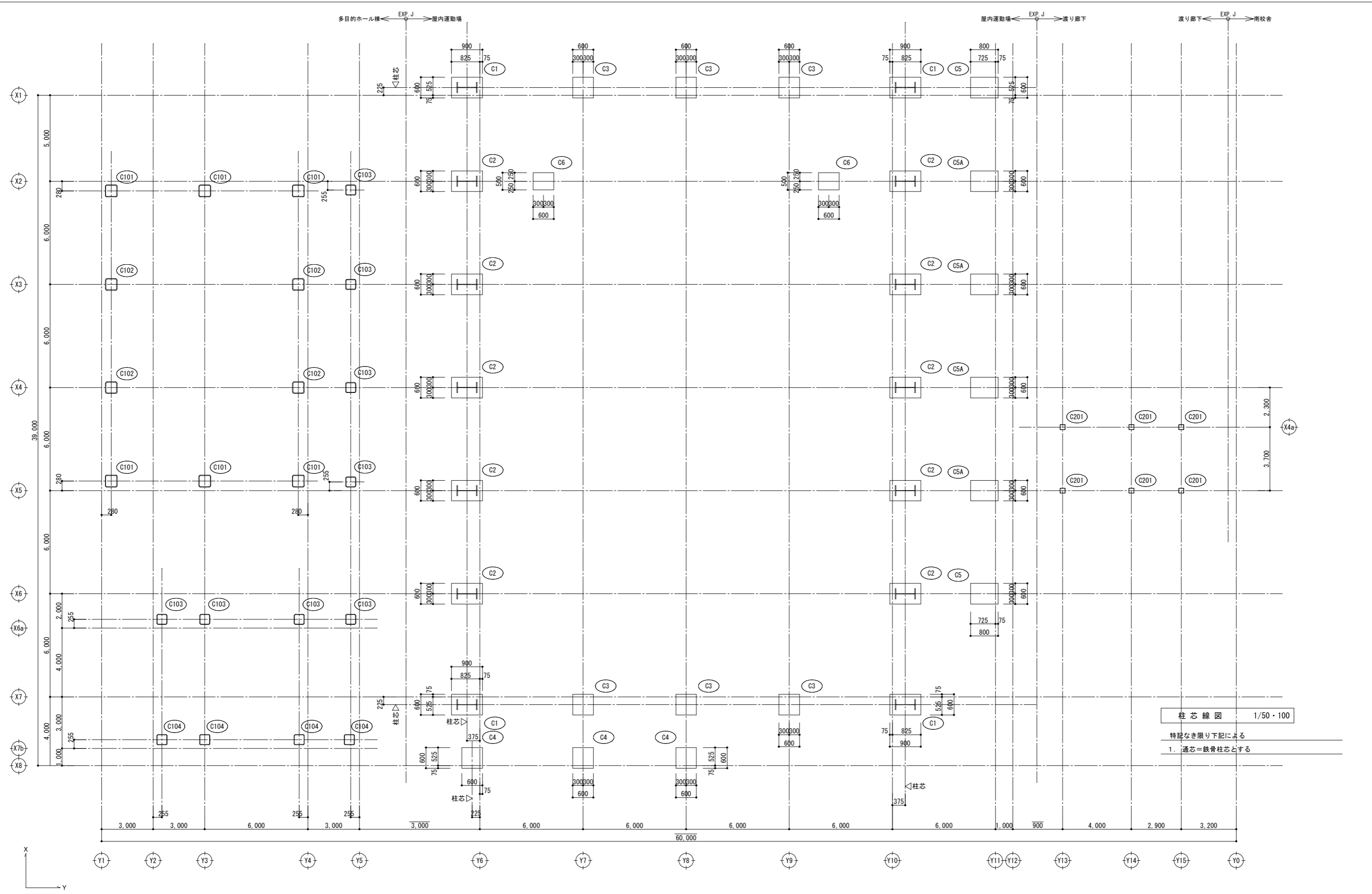
長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日 設計 検図
製図 検印

工事名称 国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事
図面名称 軸組図(4)
縮尺 1:200 (A1)
1:400 (A3)

図面番号 S-18

構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史



柱芯線図 1/50・100
 特記なき限り下記による
 1. 通芯=鉄骨柱芯とする

訂正	

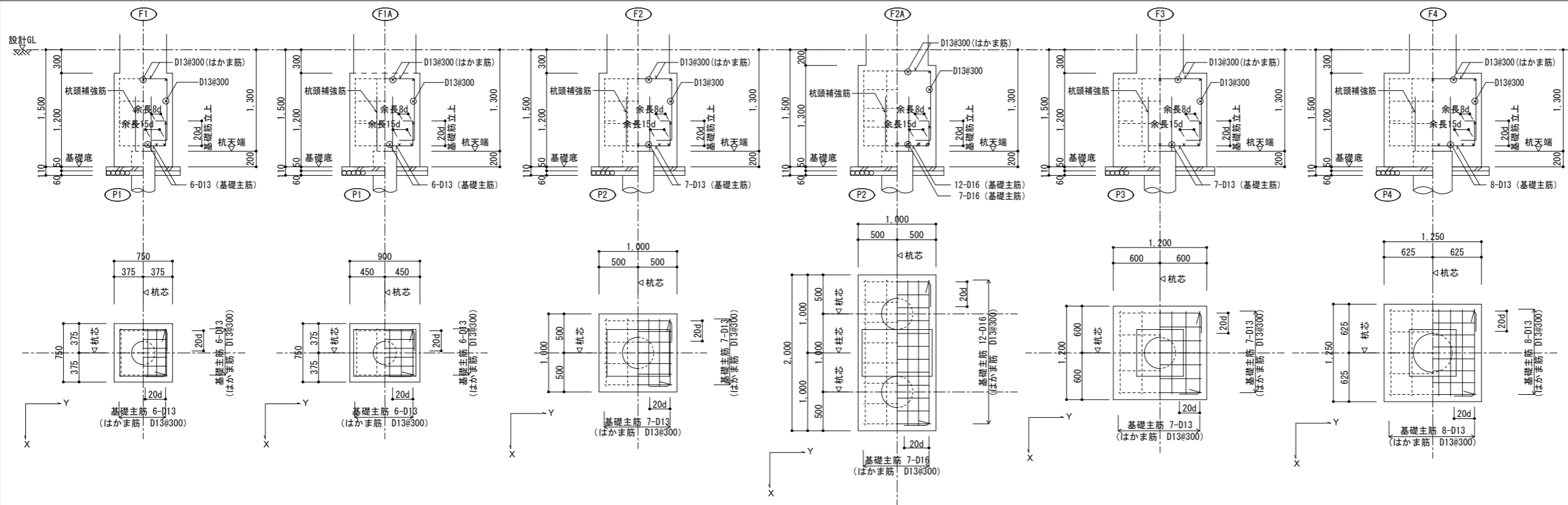
SNS 新日本設計株式会社
 長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
 1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日	設計	検 査
	製 図	検 印

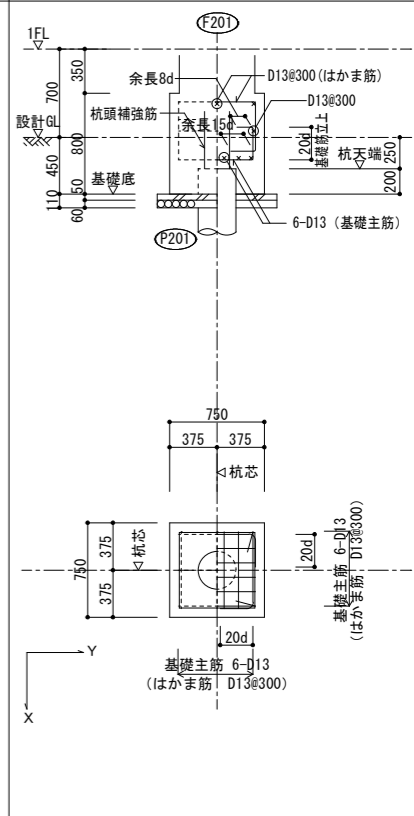
工事名称	国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事	図面番号	S-19
図面名称	柱芯線図	縮 尺	1:50・100 (A1) 1:100・200 (A3)

構造担当者
 一級建築士登録 第224598号
 構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

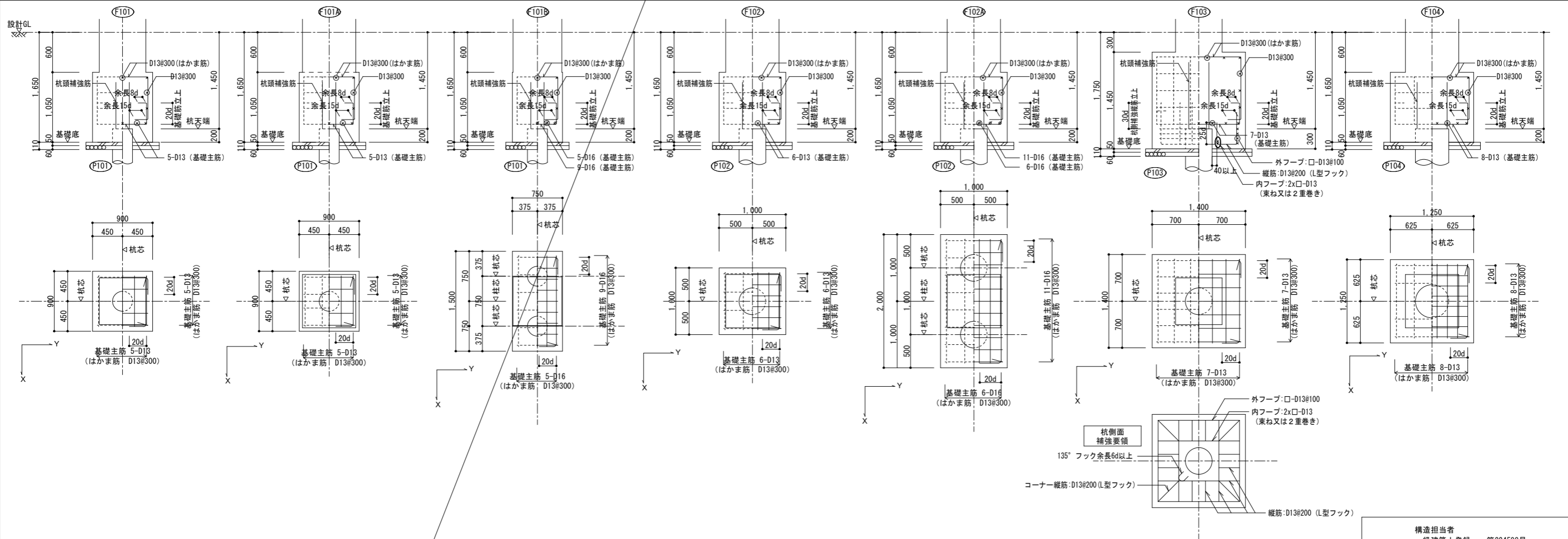
●屋内運動場



●渡り廊下



●多目的ホール



構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

設計年月日

設計

検図

工事名称

国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事

図面番号

S-20

製図

検印

図面名称

基礎リスト

縮尺 1:30 (A1)
1:60 (A3)

●屋内運動場

地中梁リスト 1/50 特記なき限り下記による 1. 巾止め筋 D10@1,000 2. **** 内数値は柱面からの端部筋長を示す

符号	FG1		FG2		FG2A			FG3	FG3A	FG4	FG11	FG12	FG12A			FG13	FG13A		
	全断面		全断面		X1, X7通端	中央	X2, X6通端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	Y6通端	中央	Y7通端	全断面	Y9通端	中央	Y10通端
断面																			
B × D	400 × 1,200		400 × 1,200		400 × 1,200			400 × 1,200	400 × 1,200	400 × 1,200	400 × 1,200	500 × 1,200	500 × 1,200			500 × 1,200	500 × 1,200		
上端筋	3-D22		4-D25		6-D25			3-D22	5-D22	4-D22	3-D25	4-D25	8-D25			6-D22	6-D22		
下端筋	3-D22		3-D25		6-D25			3-D22	3-D22	3-D22	3-D25	4-D25	8-D25			4-D22	4-D22		
スターラップ	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200			□-D13@200	□-D13@200	□-D13@150	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200			□-D13@200	□-D13@200		
腹筋	6-D13		6-D13		6-D13			6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13			6-D13	6-D13		
備考																			

符号	FG14		FG15			FG15A			FG16		FG16A		FG1A		CFG1	CFG11	FB1	FB2
	端部	中央	Y10通端	中央	Y11通端	Y10通端	中央	Y11通端	端部	中央	全断面	X6通端・中央	X7通端	全断面	全断面	全断面	全断面	
断面																		
B × D	400 × 1,200		500 × 1,200			500 × 1,200			500 × 1,200		500 × 1,200		500 × 1,200		500 × 1,200	500 × 1,200	350 × 700	300 × 600
上端筋	5-D25	3-D25	5-D25	5-D25	8-D25	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	8-D25	4-D22	8-D22	8-D22	8-D22	3-D19	4-D22	
下端筋	5-D25	3-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D19	3-D22	
スターラップ	□-D13@200		□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	
腹筋	6-D13		6-D13			6-D13			6-D13		6-D13		6-D13		6-D13	6-D13	2-D10	2-D10
備考																		

●多目的ホール

地中梁リスト 1/50 特記なき限り下記による 1. 巾止め筋 D10@1,000

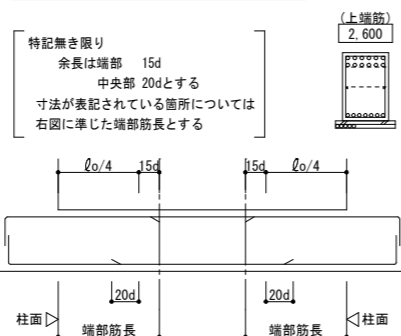
符号	FG101		FG101A			FG101B		FG111		FG111A		FG111B	FG112	FG112A		FG112B	FG112C	CFG101	FB101	FB102	CFB101	
	端部	中央	X2, X5通端	中央	X3, X4通端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	
断面																						
B × D	400 × 1,100		400 × 1,100			400 × 950		400 × 1,100		400 × 1,100		400 × 1,100	400 × 1,100	400 × 1,100		400 × 1,100	400 × 950	400 × 1,100	300 × 600	400 × 1,100	400 × 1,100	
上端筋	4-D25	3-D25	5-D25	3-D25	4-D25	5-D25	3-D25	4-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	4-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D22	3-D25	3-D25	
下端筋	3-D25	3-D25	5-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3-D22	3-D25	3-D25	
スターラップ	□-D13@200		□-D13@200			□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200
腹筋	6-D13		6-D13			4-D13		6-D13		6-D13		6-D13	6-D13	6-D13		6-D13	4-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13
備考														X2通Y1-Y3間 ST:□-D13@150								

●渡り廊下

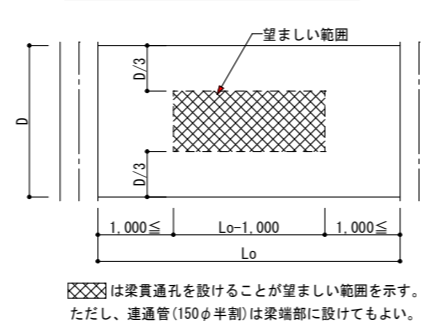
地中梁リスト 1/50 特記なき限り下記による 1. 巾止め筋 D10@1,000

符号	FG201	FG211
位置	全断面	全断面
断面		
B × D	300 × 600	300 × 600
上端筋	2-D22	2-D22
下端筋	2-D22	2-D22
スターラップ	□-D10@200	□-D10@200
腹筋	2-D10	2-D10
備考		

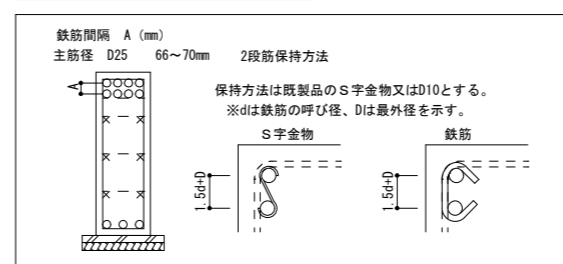
大梁のカットオフ及び端部筋長について



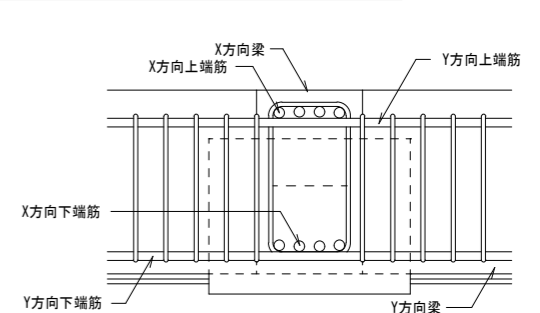
地中梁貫通孔の位置



二段筋の鉄筋間隔 凡例図



梁成(梁主筋レベル)が同じ場合の配筋要領



構造担当者
 一級建築士登録 第224598号
 構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正	
----	--

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
 1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日	設計	検 図	工事名称	図面番号
	製 図	検 印	国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事	S-21
			図面名称	縮 尺 1:50 (A1) 1:100 (A3)
			地中梁リスト	

●屋内運動場

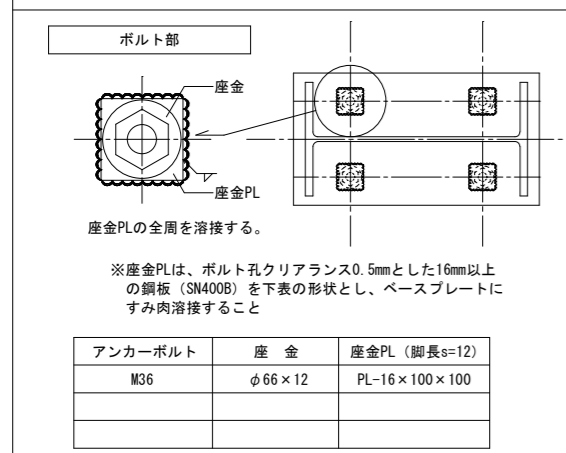
柱リスト 1/30

特記なき限り下記による

1. パネルゾーンフープは下層と同鉄筋を使用し#100とする (Pw=0.2%以上を確保する)
2. 鉄骨材質はSN400Bとする
3. B. 鉄材質はSN400Bとする
4. A. BOLT材質はABR400とする
5. △印は寄せ筋を示す

符号	C1	C2	C3	C4	C5	C5A	C6
2階							
鉄骨	H-588x300x12x20	H-588x300x12x20					
備考							
鉄骨柱脚							
ベースプレート	B. PL-32 x 350 x 650 (SN400B)	B. PL-32 x 350 x 650 (SN400B)					
アンカーボルト	4-M36 (SNR490) L=720	4-M36 (SNR490) L=720					
定着板	110 x 110 x 19	110 x 110 x 19					
備考	座金PLとBPLを溶接する	座金PLとBPLを溶接する					
パネルゾーンフープ	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100
1階柱頭							
B x D	600x900	600x900	600x600	600x600	600x800	600x800	500x600
鉄筋	20-D19	20-D19	16-D19	16-D19	16-D19	16-D19	16-D16
フープ	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100
1階柱脚	同上		同上	同上			同上
B x D	600x900	600x900	600x600	600x600	600x800	600x800	500x600
鉄筋	20-D19	20-D22	16-D19	16-D19	16-D22	16-D22	16-D16
フープ	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100
備考							

座金溶接要領図



●多目的ホール

柱リスト

特記なき限り下記による

1. 材質は BCR295 とする

符号	C101	C102	C103	C104
R階	□-350x350x12	□-350x350x12	□-300x300x12	—
1階	□-350x350x16	□-350x350x22	□-300x300x16	□-300x300x12
柱脚	回転剛性=149000kN・m/rad 保有耐力接合	回転剛性=170000kN・m/rad 保有耐力接合	回転剛性=96500kN・m/rad 保有耐力接合	回転剛性=89600kN・m/rad 保有耐力接合
備考	既製柱脚固定金物 J350-16	既製柱脚固定金物 J350-22	既製柱脚固定金物 J300-16	既製柱脚固定金物 J300-12

●渡り廊下

柱リスト

特記なき限り下記による

1. 材質は BCR295 とする

符号	C201
1階	□-150x150x6
柱脚	回転剛性=11000kN・m/rad 保有耐力接合
備考	既製柱脚固定金物 J150-9

●屋内運動場

礎柱リスト 1/30

符号	F1
1階柱脚	
B x D	600x600
鉄筋	12-D19
フープ	□-D13#100
備考	

●多目的ホール

礎柱リスト 1/30

C101、C102、C103、C104については、柱脚工法設計施工標準図参照

符号	F101
1階柱脚	
B x D	700x700
鉄筋	12-D19
フープ	□-D13#100
備考	

訂正

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録 (長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日

設計

検図

工事名称

国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事

図面番号

S-22

製図

検印

図面名称

柱リスト

縮尺 1:30 (A1)
1:60 (A3)

構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

●屋内運動場

大梁リスト 1:30

特記なき限り下記による 1. 腹筋は2-D10とする 2. 巾止筋はD10@1,000以内とする 3. 鉄骨材質はSN400Bとする 4. **** 内数値は柱面からの端部筋長を示す

符 号	G1		G2		G2A		G3		G3A		G3B		G3C			G4	
	全断面		全断面		端部	中央	全断面		全断面		全断面		X1通端	中央	X2通端	全断面	
R 階	I		/		/		/		/		/		/			/	
鉄 骨	H-300x150x6.5x9		/		/		/		/		/		/			/	
備 考	/		/		/		/		/		/		/			/	
2 階 F _c =24N/mm ²											I		/		/		
B x D	400x600		400x600		400x600		400x600		400x550		400x600		400x450			-	
上 端 筋	3-D22		3-D22		5-D22 3-D22		3-D22		3-D22		3-D22		5-D22 3-D22 3-D22			-	
下 端 筋	3-D22		3-D22		4-D22 4-D22		3-D22		3-D22		3-D22		3-D22 3-D22 3-D22			-	
鉄 骨	-		-		-		-		-		-		-			H-200x100x5.5x8	
スタ-ラップ	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200			-	
腹 筋	2-D13 (柱内にL2定着)		-		2-D13 (柱内にL2定着)		-		-		-		-			-	
備 考	-		-		-		-		-		-		-			-	

符 号	G11		G11A		G11B		G12			G12A			G13		G13A			G14		G14A		CG1		CG2	
	全断面		全断面		全断面		Y10通端	中央	Y11通端	Y10通端	中央	Y11通端	全断面		Y6・Y10通端	中央	Y7・Y9通端	全断面		全断面		全断面		全断面	
R 階	I		/		/		I			/			/		/			/		/		I		/	
鉄 骨	H-588x300x12x20		/		/		H-588x300x12x20			/			/		/			/		/		H-200x100x5.5x8		/	
備 考	/		/		/		/			/			/		/			/		/		/		/	
2 階 F _c =24N/mm ²														I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
B x D	400x600		400x600		400x600		500x600			500x600			400x600		450x600			-		-		-		-	
上 端 筋	3-D22		6-D22		5-D25		4-D22 4-D22 6-D22			4-D25 4-D25 6-D25			3-D22		5-D22 3-D22 3-D22			-		-		-			
下 端 筋	3-D22		3-D22		3-D25		4-D22 4-D22 4-D22			4-D25 6-D25 4-D25			3-D22		3-D22 3-D22 3-D22			-		-		-			
鉄 骨	-		-		-		-			-			-		-			H-200x100x5.5x8		H-250x125x6x9		H-150x75x5x7		-	
スタ-ラップ	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200			□-D13@150			□-D13@200		□-D13@200			-		-		-			
腹 筋	-		2-D13 (柱内にL2定着)		2-D13 (柱内にL2定着)		-			-			-		-			-		-		-		-	
備 考	-		-		-		-			-			-		-			-		-		-		-	

●多目的ホール

鉄骨大梁リスト 特記なき限り下記による 1. 材質は SN400B とする

符 号	G101	G101A	G101B	G102	G102A	G102B	G111	G112	G112A	G112B
R 階	H-244x175x7x11	H-244x175x7x11	-	H-244x175x7x11	-	-	H-400x200x8x13	H-244x175x7x11	H-244x175x7x11	-
2 階	H-350x175x7x11	H-340x250x9x14	H-340x250x9x14	H-350x175x7x11	H-350x175x7x11	H-340x250x9x14	H-588x300x12x20	H-350x175x7x11	H-350x175x7x11	H-340x250x9x14
備 考	片側ピン接合		片側ピン接合		片側ピン接合		片側ピン接合		片側ピン接合	

●渡り廊下

鉄骨大梁リスト 特記なき限り下記による 1. 材質は SN400B とする

符 号	G201	G211	G201
R 階	H-250x125x6x9	H-250x125x6x9	H-250x125x6x9
備 考	-		

構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂 正	

SNS 新日本設計株式会社
長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日	設 計	検 図	工事名称	図面番号
			国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事	S-23
	製 図	検 印	図面名称	縮 尺
			大梁リスト	1:30 (A1) 1:60 (A3)

二次部材リスト 特記なき限り下記による 1. 材質は SS400 とする

符 号	部 材	材 質	使用棟 運動多目的下	備 考
B125	H-125x125x6.5x9		●	溶接接合
B15	H-150x75x5x7		●	
B19	H-194x150x6x9		●	
B20	H-200x100x5.5x8		●	
B24	H-244x175x7x11		●	
B25	H-250x125x6x9		●	
B29	H-294x200x8x12		●	
B30	H-300x150x6.5x9		●	
B34	H-340x250x9x14		●	
B35	H-350x175x7x11		●	
CB1	H-200x100x5.5x8		●	
CB2	H-200x200x8x12		●	
CB101	H-340x250x9x14		●	
CB102	H-125x125x6.5x9		●	
b10	H-100x50x5x7		●	
b15	H-150x75x5x7		●	
P1	□-150x150x6	BCR295	●	
P2	H-300x300x10x15		●	
P3	H-244x175x7x11		●	
P4	H-194x150x6x9		●	
P5	H-150x150x7x10		●	
P6	H-100x100x6x8		●	
P7	H-125x125x6.5x9		●	
P10	H-100x100x6x8		●	
T	H-100x100x6x8		●	
HB10	H-100x100x6x8		●	耐風梁 横使い
HB12	H-125x125x6.5x9		●	耐風梁 横使い
HB14	H-148x100x6x9		●	耐風梁 横使い
HB19	H-194x150x6x9		●	耐風梁 横使い
V1	2L-75x75x9		●	G.R-12×205 HTB.5-M20
V11	L-65x65x6		●	G.R-9×90 HTB.5-M16
V11A	2L-65x65x6		●	G.R-9×165 HTB.5-M16
V12	1-M16 (JISターンバックル筋交い)		●	G.R-9×70 HTB1-M16
V13	1-M20 (JISターンバックル筋交い)		●	G.R-9×80 HTB1-M20
G6101	H-340x250x9x14		●	
G6102	H-125x125x6.5x9		●	溶接接合 (内ダイヤ PL-12)
G6103	H-250x125x6x9		●	溶接接合 (内ダイヤ PL-16)
階段ササラ	PL-12x300		●	G.PL-12、HTB2-M16
屋外階段ササラ	PL-12x350		●	G.PL-12、HTB2-M16

●屋内運動場 RC小梁リスト 1/50 特記なき限り下記による 1. 巾止め筋 D10@1,000

符 号	B1	B2
位 置	全 断 面	全 断 面
断 面		
B × D	300 × 600	350 × 450
上 端 筋	3-D19	3-D19
下 端 筋	3-D19	3-D19
スターラップ	□-D10@200	□-D10@200
腹 筋	2-D10	—
備 考		

壁リスト 1/30 特記なき限り下記による 1. 巾止め筋はD10@1,000とする(ダブル配筋のみ) 2. (S)はシングル配筋、(D)はダブル配筋、(TD)はチドリダブル配筋を示す

符 号	W12	W15	EW15	W20
版 厚	120	150	150	200
断 面 (立断面を示す)				
縦 筋	D13@200 (S)	D10@200 (TD)	D10@200 (TD)	D13@200 (D)
横 筋	D13@200 (S)	D10D13@200 (TD)	D10D13@200 (TD)	D10D13@200 (D)
開 口 補 強	縦筋 2-D13 横筋 2-D13 斜筋 2-D13	縦筋 2-D13 横筋 2-D13 斜筋 2-D13	縦筋 2-D13 横筋 2-D13 斜筋 2-D13	縦筋 2-D13 横筋 2-D13 斜筋 2-D13
備 考				

在来工法柱脚リスト 1/30

符 号	P1	P2	P3	P4	P7	T・P10
柱	□-150x150x6 (BCR295)	H-300x300x10x15 (SS400)	H-244x175x7x11 (SS400)	H-194x150x6x9 (SS400)	H-125x125x6.5x9 (SS400)	H-100x100x6x8 (SS400)
断 面						
ベースプレート	B.R-16×340×200 (SN400B)	B.R-36×350×350 (SN400B)	B.R-19×220×300 (SN400B)	B.R-16×220×250 (SN400B)	B.R-19×220×175 (SN400B)	B.R-19×220×150 (SN400B)
アンカーボルト	2-M16 L=320 (SS400)	2-M20 L=400 (SS400)	2-M20 L=400 (SS400)	2-M16 L=320 (SS400)	2-M16 L=320 (SS400)	2-M16 L=320 (SS400)
備 考	ダブルナット締め	ダブルナット締め	ダブルナット締め	ダブルナット締め	ダブルナット締め	ダブルナット締め

鉄骨梁RC接合部リスト 1/30

符 号	G4, G14	B20	B15	G14A
柱	H-200x100x5.5x8 (SN400B)	H-200x100x5.5x8 (SS400)	H-150x75x5x7 (SS400)	H-250x125x6x9 (SN400B)
断 面				
ベースプレート	B.R-16×220×250 (SN400B)	B.R-16×220×250 (SN400B)	B.R-16×220×200 (SN400B)	B.R-16×220×300 (SN400B)
アンカーボルト	2-M16 L=320 (SS400)	2-M16 L=320 (SS400)	2-M16 L=320 (SS400)	2-M16 L=320 (SS400)
備 考	ダブルナット締め	ダブルナット締め	ダブルナット締め	ダブルナット締め

スラブリスト

符 号	版 厚	位 置	短辺方向配筋 (主筋方向)	長辺方向配筋 (配筋方向)
屋 内 運 動 場	S 1	上端筋	D13 @200	D13 @200
		下端筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200
	S 1 A	上端筋	D13 D16 @200	D13 @200
		下端筋	D10 D13 @200	D13 @200
	S 2	上端筋	D13 @200	D13 @250
		下端筋	D10 D13 @200	D10 D13 @250
	S 2 A	上端筋	D13 @150	D13 @200
		下端筋	D10 D13 @150	D10 D13 @200
	S 3	上端筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200
		下端筋	D10 @200	D10 @200
	S 4	上端筋	D10 D13 @200	D10 D13 @250
		下端筋	D10 @200	D10 @250
CS 1	上端筋	D13 @200	D10 @200	
	下端筋	D10 @200	D10 @200	
CS 2	上端筋	D13 @200	D10 @200	
	下端筋	D10 @200	D10 @200	
FS 1	上端筋	D13 @200	D13 @200	
	下端筋	D13 @200	D13 @200	
多 目 的 ホール	S 1 0 1	上端筋	D13 @200	D13 @200
		下端筋	D10 D13 @200	D10 D13 @200
	S 1 0 2	上端筋	D13 @200	D13 @200
FS 1 0 1	上端筋	D13 @200	D13 @200	
	下端筋	D13 @200	D13 @200	
土間コンクリート	150	上端筋	D13 @200	D10 D13 @200
		下端筋	D10 D13 @200	D10 @200

※外部土間コンクリート：捨てコンクリート t=50、砕石 t=120

デッキスラブリスト 1:30

符 号	断 面
DS101	

構造担当者 一級建築士登録 第224598号 構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

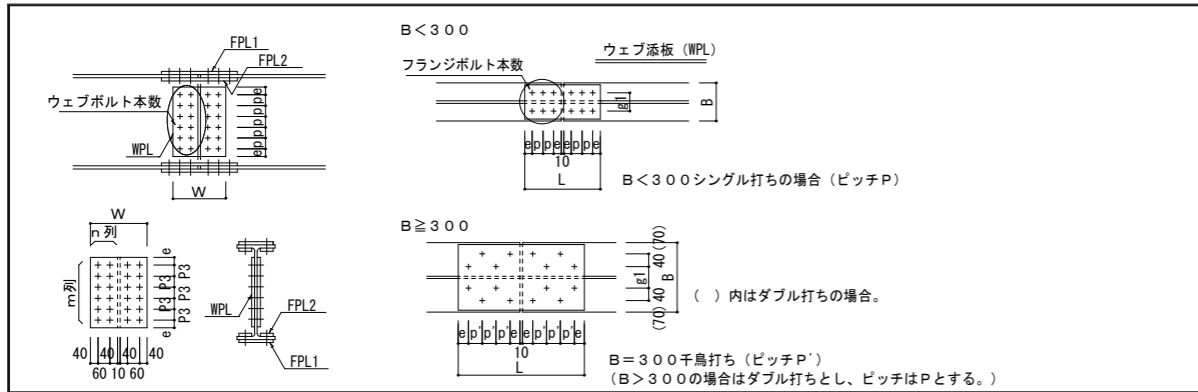
訂 正

SNS 新日本設計株式会社
 長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録 (長野) N第43023号
 1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日 設 計 検 図 工事名称 国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事 図面番号 S-24
 製 図 検 印 図面名称 二次部材リスト 縮 尺 1:50 (A1) 1:100 (A3)

大梁継手リスト

特記なき限り下記による 1.材質は母材同等とする

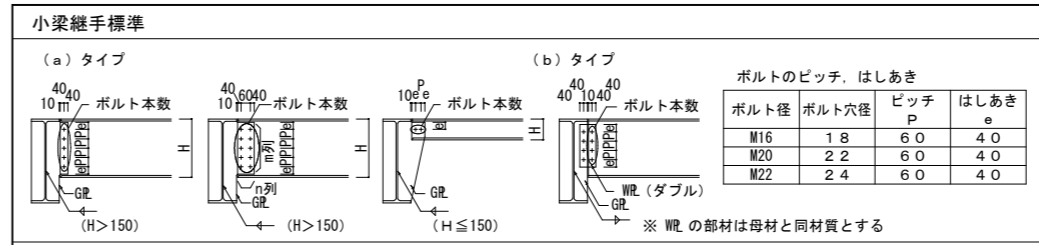


□ボルトのピッチ・はしあき ※はしあき()は、フランジボルト本数が4本以下の時を示す				□ウェブ添板幅 (W) ※フィラープレートは、すきまが1mmを超える場合に入れる			
ボルト径	ボルト穴径	ピッチ P (P')	はしあき e	梁		柱	
M16	18	60 (45)	40 (50)	ボルト列	WPL	ボルト列	WPL
M20	22	60 (45)	40 (55)	n=1	170	n=1	165
M22	24	60 (45)	40 (55)	2	290	2	285
				3	410	3	405

□フランジ添板幅・ゲージ ※特記なき限りフランジ、ウェブ添板はダブルとする				□フランジ・ウェブボルト本数・プレート厚 ※特記なき限り、S400Bとする。									
フランジ幅	ゲージ g	FPL1	FPL2	使用棟	部 材	ボルト	フランジ			ウェブ			備 考
							ボルト本数	FPL1	FPL2	m x n	P3	WPL, GPL	
100	60	100	-	屋内運動場	H-294x200x 8x12	M20	6	9	9	3x1	60	9	ピン側 G.PL-16, 3x2-M22
125	75	125	-		H-300x150x6.5x9	M16	4	9	9	3x1	60	12	ピン側 G.PL-16, 3x2-M22
150	90	150	60		H-588x300x12 x20	M22	8	12	16	7x1	60	9	
175	105	175	70	多目的ホール	H-244x175x7x11	M20	4	9	9	2x1	60	9	ピン側 G.PL-9, 2-M20
180	110	180	70		H-250x125x6 x9	M16	6	12	-	2x2	60	6	ピン側 G.PL-9, 3-M20
200	120	200	80		H-340x250x9x14	M22	6	12	12	3x1	60	9	ピン側 G.PL-12, 3-M22
250	150	250	100		H-350x175x7x11	M20	4	9	9	3x1	90	6	ピン側 G.PL-9, 3-M20
300	150	300	110		H-400x200x8x13	M20	6	9	9	4x1	60	9	
350	140	350	140		H-588x300x12x20	M22	8	12	16	7x1	60	9	
				渡り廊下	H-250x125x 6 x9	M16	6	12	-	2x2	60	6	

小梁継手リスト

特記なき限り下記による 1.材質は 無印:SS400 ○:SN400B とする



符号	部 材	ボルト本数 m x n	GR厚	備 考	符号	部 材	ボルト本数 m x n	GR厚	備 考
	●屋内運動場					●多目的ホール			
B15	H-150x 75x 5 x 7	M20 2x1	12	ボルト横1列	B15	H-150x 75x 5 x 7	M20 2x1	12	ボルト横1列
B20	H-200x100x5.5x 8	M20 2x1	9		B19	H-194x150x 6 x 9	M16 2x1	9	
B25	H-250x125x 6 x 9	M22 2x3	16	G.PLH=200 ボルト@=90	B20	H-200x100x5.5x 8	M20 2x1	6	
B29	H-294x200x 8 x12	M22 3x2	16	G.PLH=200 ボルト@=90	B24	H-244x175x 7 x11	M20 2x2	9	
B30	H-300x150x6.5x 9	M22 3x2	16		B25	H-250x125x 6 x 9	M20 2x2	9	
					B29	H-294x200x 8 x12	M16 3x1	9	
G4	H-200x100x5.5x 8	M20 2x1	9		B30	H-300x150x6.5x 9	M20 4x1	9	
G14A	H-250x125x 6 x 9	M20 2x1	9		B34 CB101	H-340x250x 9 x14	M20 4x1	9	
					B35	H-350x175x 7 x11	M20 4x1	9	
b10	H-100x 50x 5 x 7	M16 2x1	9	ボルト横1列	b10	H-100x 50x 5 x 7	M16 2x1	9	ボルト横1列
					b15	H-150x 75x 5 x 7	M22 4x1	16	G.PLH=150 ボルト横1列
P1	□-150x150x6	M16 1x2	9						
P2	H-300x300x10 x15	M16 3x1	12		P10 T	H-100x100x 6 x 8	M16 1x2	9	
P3	H-244x175x 7 x11	M16 3x1	9						
P4	H-194x150x 6 x 9	M16 1x2	9		HB10	H-100x100x 6 x 8	M16 1x2	9	
P5	H-150x150x 7 x10	M20 2x2	9		HB14	H-148x100x 6 x 9	M16 1x2	9	
P6	H-100x100x 6 x 8	M16 1x2	9		HB19	H-194x150x 6 x 9	M16 1x2	9	
T	H-100x100x 6 x 8	M16 1x2	9		●渡り廊下				
					B15	H-150x 75x 5 x 7	M20 1x2	9	
HB10	H-100x100x 6 x 8	M16 1x2	9						
HB12	H-125x125x6.5x 9	M16 1x2	9						

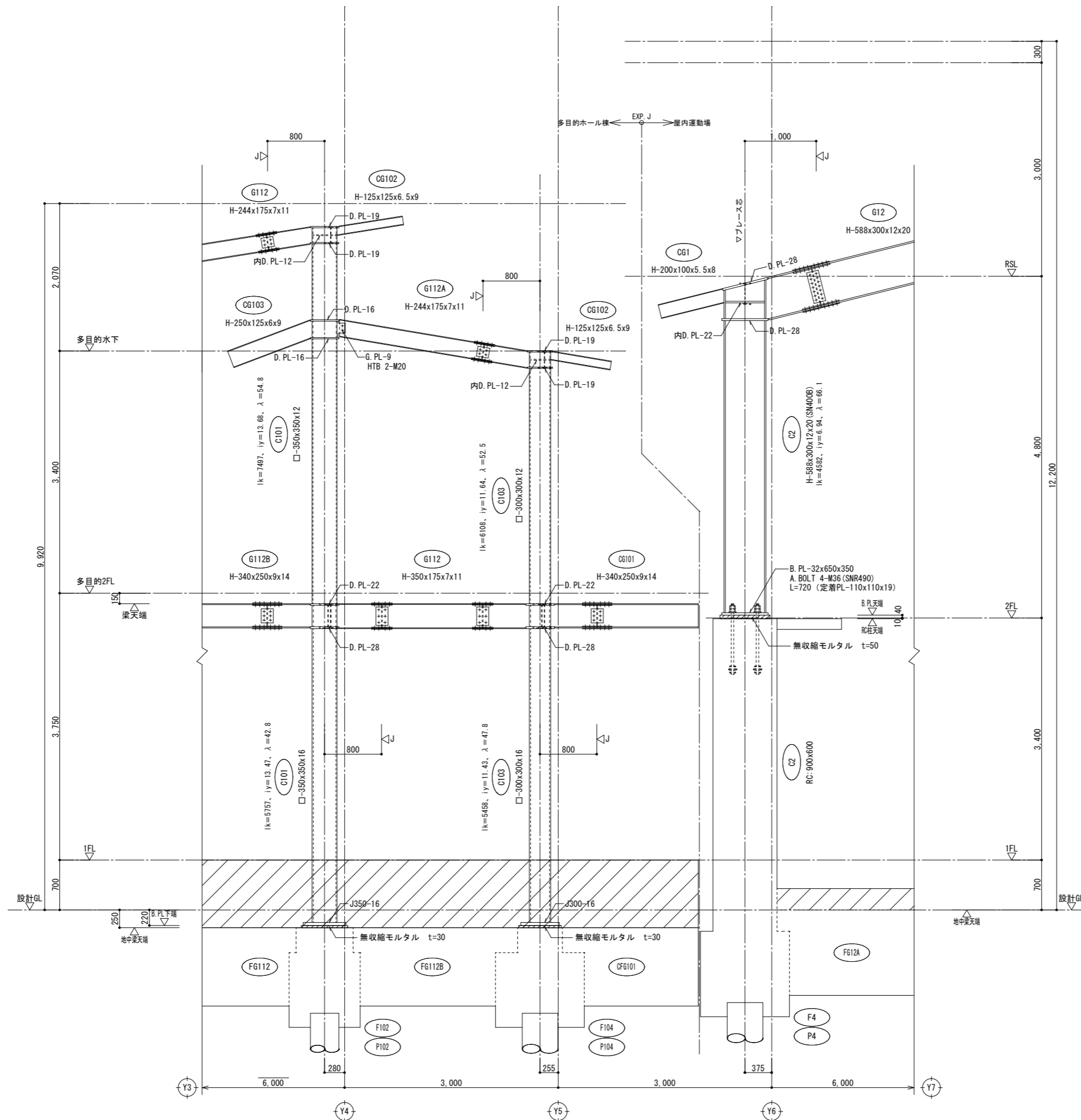
訂正

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日	設計	検 図	工事名称	図面番号
			国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事	S-25
	製 図	検 印	図面名称	縮 尺 1:50 (A1) 1:100 (A3)
			継手リスト	

構造担当者
一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史



(X5) 通り架構詳細図 (1) 1:30	
特記なき限り下記による	
1. 鉄骨材質	柱 BCR295
	大梁 SN400B
	ダイヤフラム SN490C
	小梁・間柱 SS400
2. R階のダイヤフラムのプレート厚さは水勾配を考慮して適宜サイズUPすること (柱からの出寸法を大きくしても可)	

構造担当者
 一級建築士登録 第224598号
 構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録 (長野) N第43023号
 1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

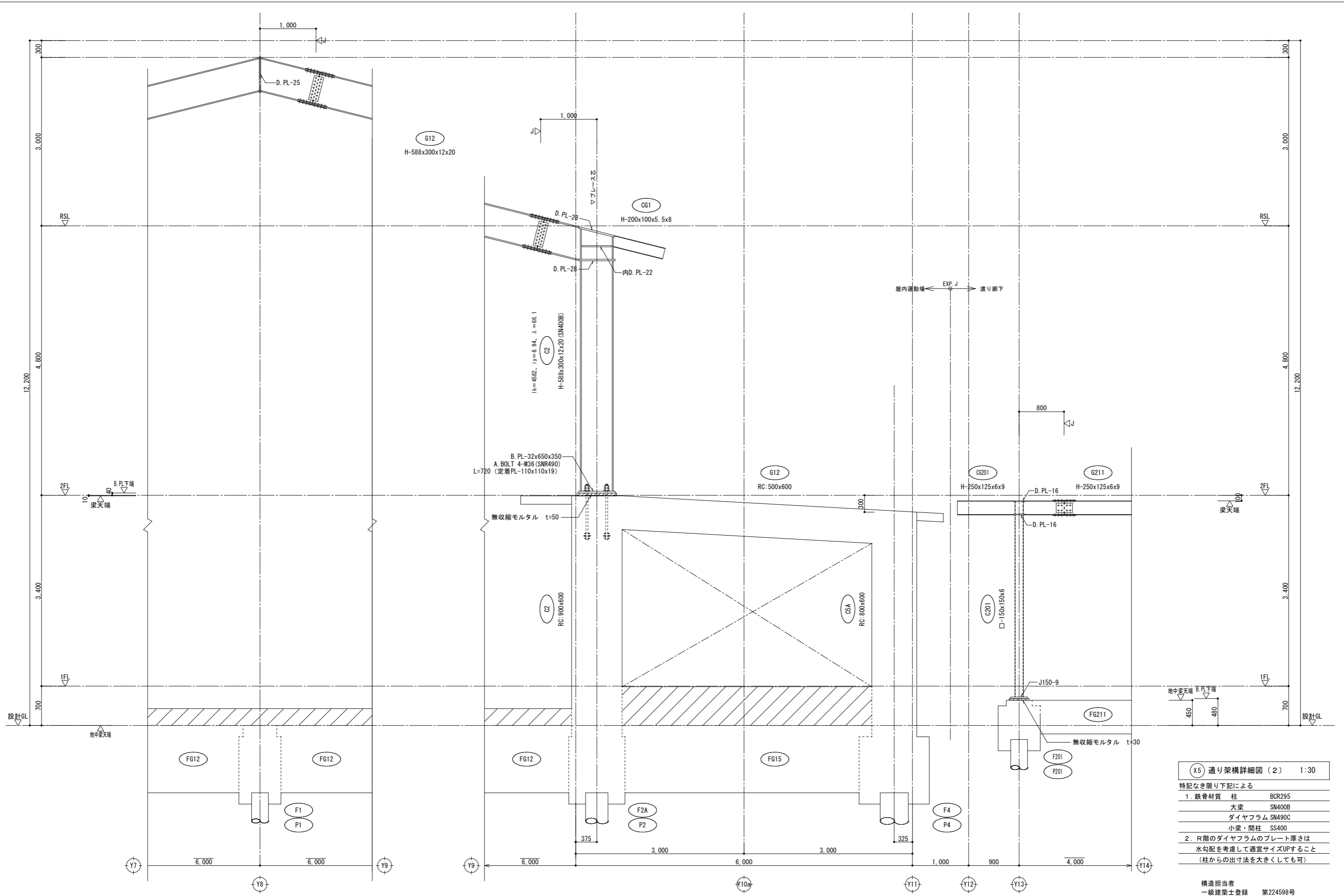
設計年月日	設計	検 図
	製 図	検 印

工事名称
国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事

図面名称
X5通り架構詳細図 (1)

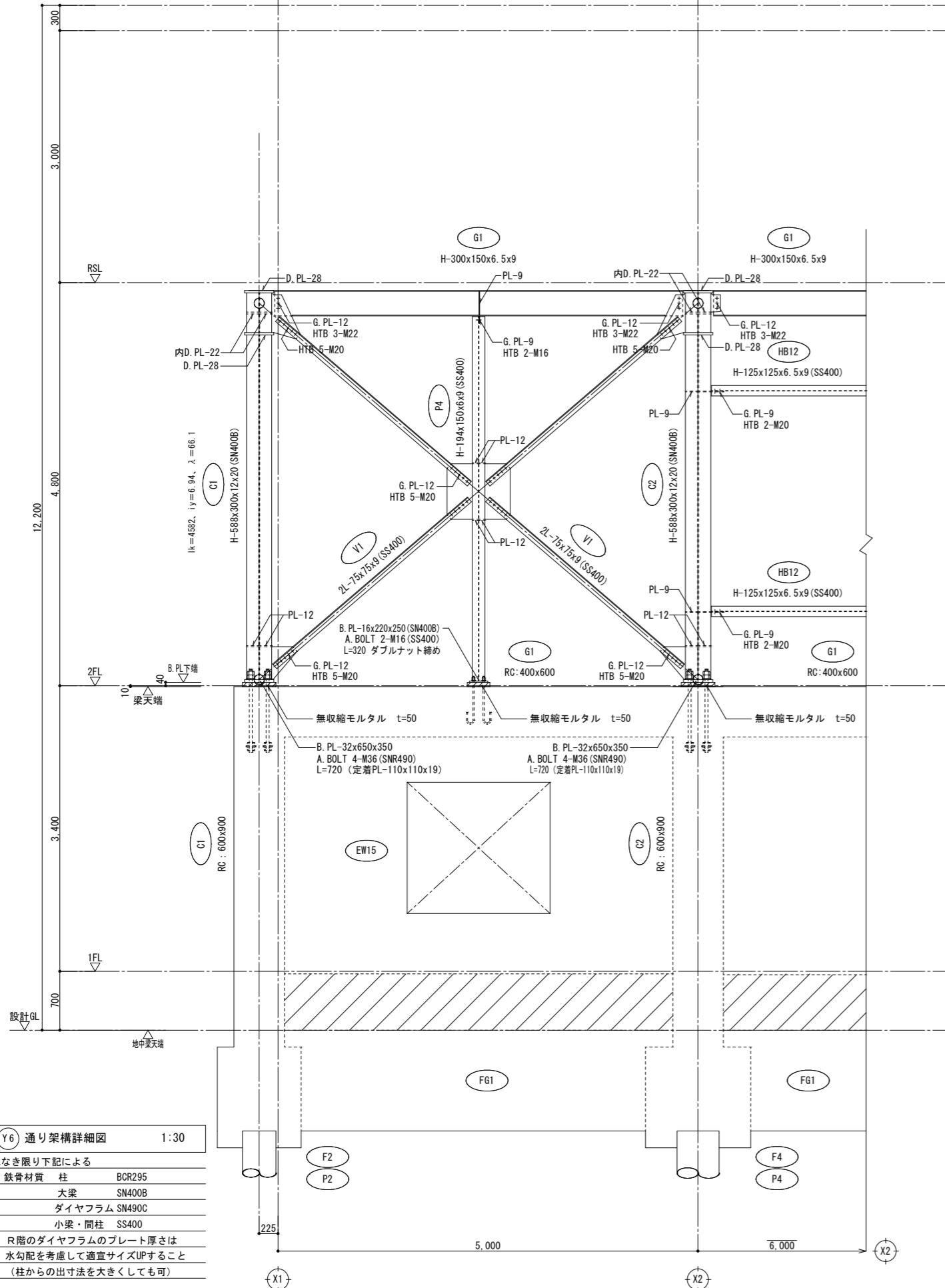
縮 尺 1:30 (A1)
 1:60 (A3)

図面番号
S-26



(X5) 通り架構詳細図 (2) 1:30	
特記なき限り下記による	
1. 鉄骨材質	柱 BCR295
	大梁 SN400B
	ダイヤフラム SN490C
	小梁・間柱 SS400
2. R階のダイヤフラムのプレート厚さは水勾配を考慮して適宜サイズUPすること (柱からの寸法を大きくしても可)	

構造担当者
 一級建築士登録 第224598号
 構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

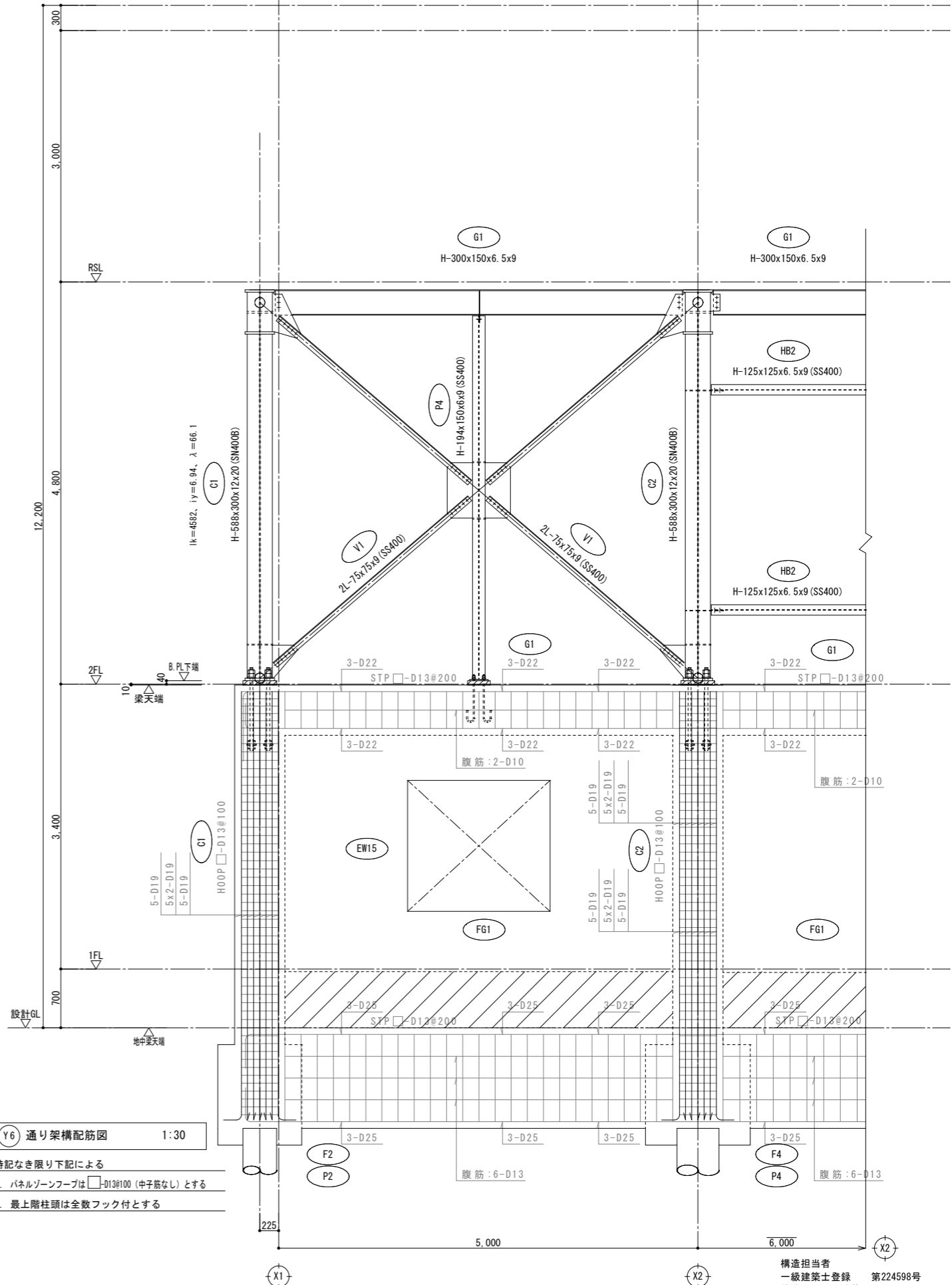


Y6 通り架構詳細図 1:30

特記なき限り下記による

1. 鉄骨材質 柱 BCR295
大梁 SN400B
ダイヤフラム SN490C
小梁・間柱 SS400

2. R階のダイヤフラムのプレート厚さは水勾配を考慮して適宜サイズUPすること(柱からの出寸法を大きくしても可)



Y6 通り架構配筋図 1:30

特記なき限り下記による

1. パネルゾーンフープは D13#100 (中子筋なし) とする

2. 最上階柱頭は全数フック付とする

構造担当者 一級建築士登録 第224598号
構造設計一級建築士 第5719号 額谷 浩史

訂正

SNS 新日本設計株式会社

長野市稲葉2561番地 1級建築士事務所長野県知事登録(長野) N第43023号
1級建築士大臣登録 第256147号 中澤 日出

設計年月日	設計	検 図	工事名称	図面番号
	製 図	検 印	国補 朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事	S-28
			図面名称	縮 尺 1:30 (A1) 1:60 (A3)
			Y6通り架構詳細図	

